

ポータブル メモリーレコーダー

PMW-50

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCAM

MPEG HD422

SXS



HDMI

目次

概要

本機の特長	5
各部の名称	6
前面	6
背面	7
上面パネル	7
赤外線リモートコマンダー（付属）	8
画面表示	9

準備

電源	11
バッテリーパックを使う	11
AC 電源を使う（DC IN 電源）	12
電源を入れる / 切る	12
時計を合わせる	12
メモリーカードを使う	13
Wi-Fi 接続して使う	15
CBK-WA01 を取り付ける	15
CBK-WA01 で Wi-Fi 接続する	16
Web メニューを使用する	17
Wi-Fi リモコンを使用する	18

記録

基本設定を変更する	20
入力信号を選択する	20
ビデオフォーマット	20
タイムデータ	21
送出モードを設定する	22
記録する	22
便利な機能を使う	23
カラーバー / 基準音声信号	23
ショットマーク（UDF、FAT/HD モード）	23
OK/NG/KP フラグ（UDF のみ）	24
OK マーク（FAT/HD モードのみ）	24
アサインボタン	24
クリップコンティニューアスレック（UDF のみ）	24
ループ記録（UDF のみ）	25
クリップの削除	26

設定データの保存と呼び出し	26
プランニングメタデータ	27

再生

サムネイル画面	31
サムネイル画面の構成	31
サムネイル画面の種類を変更する	32
クリップの再生	33
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する	33
イン点ーアウト点間を再生する	34
クリップを繰り返し再生する	35
音声を聞く	35
頭出しする	35
クリップ操作	35
クリップ操作メニュー構成	35
クリップ操作メニューの基本操作	36
クリップの詳細情報を表示する	37
OK/NG/KP フラグ (UDF のみ)	38
OK マーク (FAT/HD モードのみ)	38
クリップのコピー	38
クリップの削除	39
クリップエクスパンド画面	39
ショットマーク画面 (UDF、FAT/HD モード)	40
クリップの代表画を変更する (UDF、FAT/HD モード)	41
クリップを分割する (FAT/HD モードのみ)	41

ステータス画面

ステータス画面を表示する	42
オーディオステータス画面	42
ビデオステータス画面	42
ボタン / リモートステータス画面	43
バッテリー / メディアステータス画面	43

メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	44
セットアップメニューの階層	44
セットアップメニューの基本操作	45
セットアップメニュー一覧	46
AUDIO SET メニュー	46
VIDEO SET メニュー	46
LCD SET メニュー	48

TC/UB SET メニュー	50
OTHERS メニュー	51

外部機器を接続する

外部モニターやカムコーダーなどを接続する	61
コンピューターを接続する	62
i.LINK で接続する	63
本機の画像を外部機器で記録する (FAT のみ)	63
ノンリニア編集する (FAT のみ)	64
外部入力信号を記録または SDI 出力する	64
USB メディアを接続する	65
本機で使用可能な USB メディア	65
クリップをコピーする	66
USB メディアのサムネイル画面を表示する	66

付録

使用上のご注意	67
出力のフォーマットと制限	69
バックアップ電池の交換	74
トラブル時の対処	75
ライセンスについて	80
MPEG-2 Video Patent Portfolio License について	80
ビットマップフォントについて	80
GPL 適用ソフトウェアの入手について	80
OpenSSL について	80
JQuery,Sizzle.js について	83
保証書とアフターサービス	84
主な仕様	84

概要

本機の特長

本機は、SxSメモリーカードへのMPEG2 HD422 50Mbpsコーデックでの記録に対応し、バッテリー駆動が可能な、ポータブルタイプのメモリーレコーダーです。記録メディアのファイルシステムは、UDFまたはFATを選択できます。

マルチフォーマット対応

- インターレース方式（1080/59.94iまたは1080/50i）
- プログレッシブ方式（1080/29.97P、1080/23.98P、720/59.94P、720/29.97P、720/23.98P、または1080/25P、720/50P、720/25P）
- SD信号のIMX50/DVCAMフォーマット
- HD信号からSD信号へのダウンコンバート出力

新世代のHD記録システム

- MPEG-2 Long GOP画像圧縮によるHD記録およびIMX50/DVCAMフォーマットのSD記録
解像度：1920×1080、1440×1080、1280×720（HD画像）
ビットレート：UDFの場合、50 Mbps（HD422モード）、35 Mbps（HQモード）
FATの場合、35 Mbps（HQモード）、25 Mbps（SPモード）
記録時間：50 Mbps（HD422モード）の場合、約120分
35 Mbps（HQモード）の場合、約180分（64 GBのSxSメモリーカードにUDFで記録した場合）
DVCAM 25MbpsフォーマットでのSD記録・再生
MPEG IMX 50Mbpsフォーマットの記録・再生
- 高品質の非圧縮音声記録
- ファイルベースワークフローに対応
- エクスパンド機能付きサムネイル表示

操作性を高める様々な機能とデザイン

- イン点アウト点間再生
- リピート再生
- 編集時にSDI入力信号をスルー出力
- i.LINK入力信号のSDI出力
- 3.5型カラー LCDモニター
- 機能を割り当てられる2個のアサインابلボタン
- バッテリーバックでの長時間動作
- USB、i.LINK、HDMIを含む多彩なインターフェース
- 4倍速、15倍速、24倍速ピクチャーサーチ
- 赤外線リモートコマンダー付属
- プランニングメタデータ機能

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

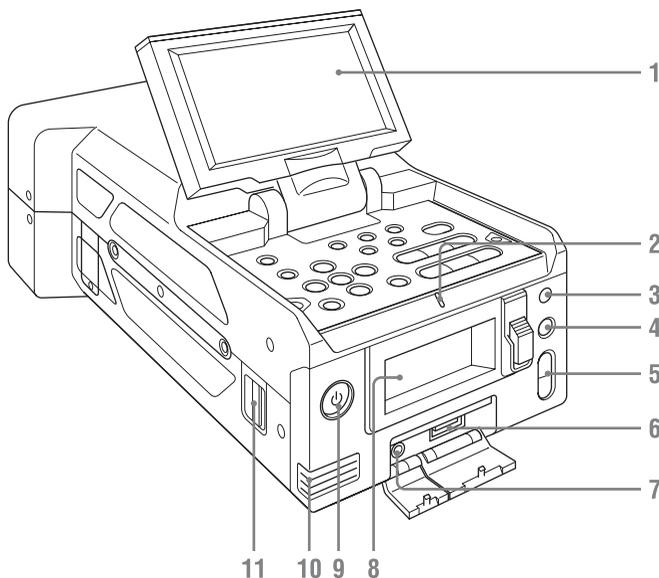
ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ：

アメリカ合衆国	http://pro.sony.com
カナダ	http://www.sonybiz.ca
ラテンアメリカ	http://sonypro-latin.com
ヨーロッパ、中東、アフリカ	http://www.pro.sony.eu
日本	http://www.sonybsc.com
アジア	http://pro.sony-asia.com
韓国	http://bp.sony.co.kr
中国	http://pro.sony.com.cn

各部の名称

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、() 内のページをご覧ください。

前面



1. LCDモニター

LCDモニターを起こした状態で時計回りに180度、反時計回りに90度回転することができます。画面を上にしたまま本体上面に格納することもできます。

LCDモニターを回転する場合は、手前に少し傾けた状態（約80度）で回転させてください。

2. TALLY (タリー) ランプ

3. 赤外線リモコン受光部

4. SLOT SELECTボタン

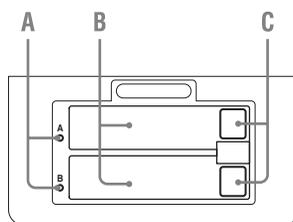
5. VOLUME (音量調節) スイッチ

6. OPTION端子 (65ページ)

7. ヘッドホン端子

8. メモリーカードスロット部

カバーを開く



A. ACCESS (アクセス) ランプ (13ページ)

B. SxSメモリーカードスロット (13ページ)

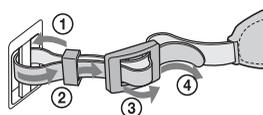
C. EJECT (SxSメモリーカード取り出し) ボタン (13ページ)

9. 電源ボタン/ランプ (12ページ)

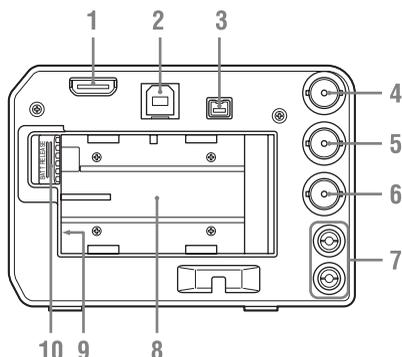
10. 内蔵スピーカー

11. ショルダーベルト取り付け部

付属のショルダーベルトを図のように取り付けます。

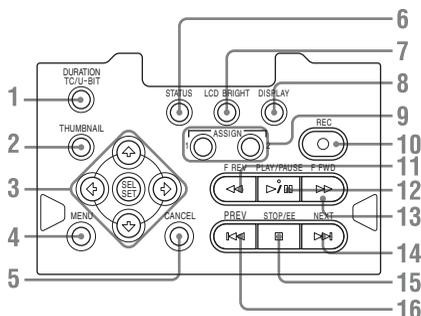


背面



1. HDMI OUT端子 (61ページ)
2. USB端子 (Type B端子)
3. i.LINK (HDV/DV) 端子 (4ピン、IEEE1394準拠S400) (61ページ)
4. SDI IN (シリアルデジタル入力) 端子 (BNC型) (62ページ)
5. SDI OUT (シリアルデジタル出力) 端子 (BNC型) (61ページ)
6. VIDEO OUT (アナログビデオ出力) 端子 (BNC型) (61ページ)
7. AUDIO OUT (アナログオーディオ出力) 端子 (CH-1/CH-2) (61ページ)
8. バッテリーパック装着部 (11ページ)
9. DC IN (DC電源入力) 端子 (12ページ)
10. BATT RELEASE (バッテリー取り出し) ボタン (11ページ)

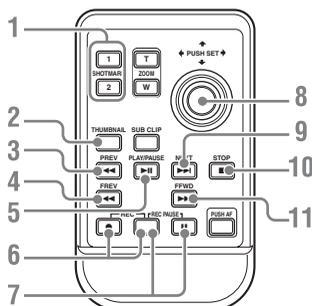
上面パネル



1. DURATION/TC/U-BIT (タイムデータ切り換え) ボタン (21ページ)
2. THUMBNAİL (サムネイル表示) ボタン (31ページ)
3. 上下/左右ボタン、SEL/SET (選択/確定) ボタン (45ページ)
再生/一時停止中に左/右ボタンを押すと、スロー再生を行います。
4. MENU (メニュー表示ON/OFF) ボタン (45ページ)
5. CANCEL (キャンセル) ボタン (45ページ)
6. STATUS (ステータス表示切り換え) ボタン (42ページ)
7. LCD BRIGHT (LCDモニター明るさ調整) ボタン
8. DISPLAY (画面表示) ボタン (9ページ)
9. ASSIGN 1/2 (アサインナブル1/2) ボタン (24ページ)
10. REC (記録) ボタン (22ページ)
11. F REV (逆高速再生) ボタン (35ページ)
12. PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン (33ページ)
13. F FWD (高速再生) ボタン (35ページ)
14. NEXT (順方向クリップジャンプ) ボタン (35ページ)
15. STOP/EE (停止) ボタン (22、31ページ)
16. PREV (逆方向クリップジャンプ) ボタン (35ページ)

赤外線リモートコマンダー（付属）

初めて使用するときは電池ホルダーから絶縁シートを引き抜いてください。



1. SHOTMARK（ショットマーク）1、2ボタン（23ページ）
2. THUMBNAIL（サムネイル）ボタン
3. PREV（逆方向クリップジャンプ）ボタン
4. F REV（逆高速再生）ボタン
5. PLAY/PAUSE（再生/一時停止）ボタン
6. REC（記録開始）ボタン
 - ボタンと無印のボタン（誤操作防止ボタン）を同時に押しと、記録を開始します。
7. REC PAUSE（記録一時停止）ボタン
 - ボタンと無印のボタン（誤操作防止ボタン）を同時に押しと、記録を停止します。
8. PUSH SET（選択/確定）ボタン
 - 本体のSEL/SETボタンと同等に機能します。
9. NEXT（順方向クリップジャンプ）ボタン
10. STOP（停止）ボタン
11. F FWD（高速再生）ボタン

ご注意

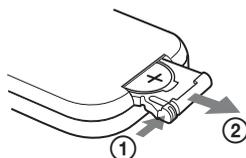
- ZOOM T/W、SUB CLIP、PUSH AFボタンは、本機では使用しません。
- 誤動作を防ぐため、本体の電源を切るとリモコン操作が自動的に無効に戻るよう設定されています。

います。電源を入れるごとに有効に切り換えて使用してください。

リモコンの電池を交換する

市販のリチウム電池CR2025を使用します。CR2025以外の電池は使用しないでください。

- 1 ①ロックレバーを押したまま、②電池ホルダーを引き出し、電池を取りはずす。



- 2 +を上向きにして新しい電池を入れ、カチッと音がするまで電池ホルダーを押し込む。

警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

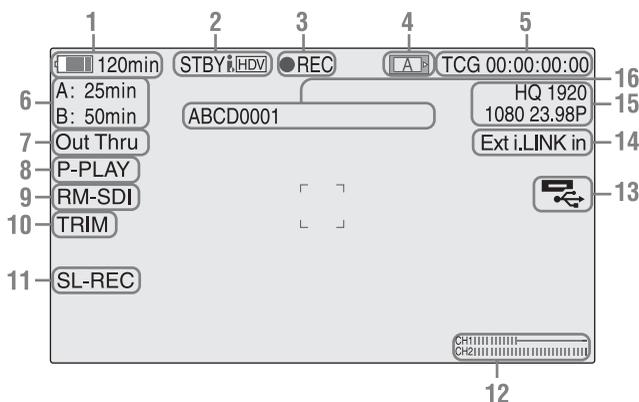
指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

画面表示

記録中/記録待機中にDISPLAYボタンを押すと、LCDモニターの映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

名称の注釈

[M] : LCD SETメニューのDisplay On/Offで個別に表示/非表示を選択できます (49ページ)。



1. バッテリー残量/DC IN電圧表示 [M] (11ページ)

2. i.LINK状態表示 (63ページ)

i.LINK接続されている場合のみ、接続機器の状態を表示します。

3. 特殊記録/動作状態表示

●REC	録画中
STBY	録画待機中
CONT点灯	クリップコンティニューアスレック時にクリップ継続中
CONT点滅	クリップコンティニューアスレック時に継続しているクリップがない

4. メディア状態表示

有効なメモリーカードスロットを表示します。

5. タイムデータ表示 [M] (21ページ)

6. メディア残量表示 [M] (14ページ)

7. 送出モード表示 (22ページ)

送出モードをTHROUGHに設定したときに「Out Thru」を、AUTOに設定したときに「Out Auto」を表示します。

8. イン点アウト点間再生表示 (34ページ)

イン点-アウト点間再生をしているときに「P-PLAY」を表示します。

9. 同期記録表示 [M]

VIDEO SETメニューのSDI Rec ControlがOnのとき「RM-SDI」を表示します。CBK-WA100使用時、RECトリガー信号を出力しているとき「Rec2」を表示します。

10. トリム表示 (34ページ)

11. ループ記録表示 (25ページ)

ループ記録を行っているときに表示します。

12. オーディオレベルメーター [M]

13. USBメディアアイコン表示 (65ページ)

またはワイヤレスアダプター状態表示

有効なUSBメディア (USB接続のHDD、USBメモリーなど) が接続されているときにアイコンを表示します。メディアがプロテクトされている場合は、 マークを表示します。

ワイヤレスアダプター CBK-WA100を接続している場合は、電波状態、SDカードの残量、およびクリップの転送状態を表示します。

14. 入力信号表示

VIDEO SETメニューのInput Source
Selectで選択した入力ソースから信号が入
力されているときに表示する。

Ext SDI in	SDI IN端子からの入力
Ext i.LINK in	i.LINK端子からのHDV/ DVCAM入力
SG	カラーバー出力

15. ビデオフォーマット表示 M (20ページ)

16. クリップ名表示 M (22ページ)

電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-U30/BP-U60/BP-U90/BP-U60T

バッテリーチャージャー / AC アダプター

BC-U1/BC-U2



警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

本機にバッテリーパックを装着した状態でACアダプターを接続することはできません。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部（7ページ）の奥まで差し込んで、右にスライドさせてロックします。

取りはずすときは、BATT RELEASEボタン（7ページ）を押しながらバッテリーパックを左にスライドさせてロックをはずし、引き抜きます。

ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1またはBC-U2を使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- バッテリーパックBP-U90は大容量でサイズが大きいため、装着時に本体からの突出が大きくなります。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して記録・再生しているときは、LCDモニター/ビューファイ

ンダー画面（9ページ）にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。

アイコン	残量
	100%~91%
	90%~71%
	70%~51%
	50%~31%
	30%~11%
	10%~0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合の使用可能時間を分単位で表示します。

バッテリーパックの容量が低下すると

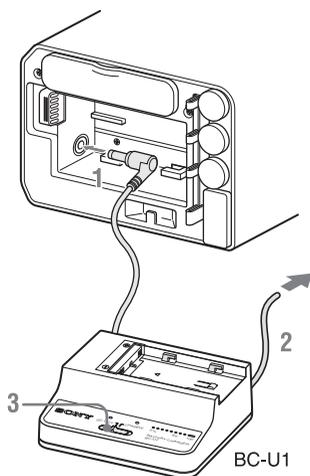
使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（Low BATT状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、タリランプの点滅とブザー音で警告します。さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（BATT Empty状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り換わります。充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、Low BATTはフル充電の10%、BATT Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、OTHERSメニューのBattery Alarm（53ページ）で変更することもできます。

AC電源を使う（DC IN電源）

接続例：BC-U1 の場合



- 1 BC-U1のDC電源出力ケーブルを本機のDC IN端子に接続する。
- 2 BC-U1の電源コードをAC電源に接続する。
- 3 BC-U1のモード切り換えスイッチをDC OUTに設定する。

電源を入れる切る

電源を入れるときは、電源ボタン（6ページ）を押します（電源ランプ点灯）。

電源を切るときは、もう一度電源ボタンを押します。

ご注意

- 本機は、電源ボタンをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取りはずしてください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源をOFFにしてから取りはずしてください。ONのまま取りはずすと、本機やSxSメモリーカードの故障の原因となることがあります。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池を交換（74ページ）した後に、初めて本機の電源を入れるとLCDモニターに初回設定画面が表示されます。

Time Zone について

UTC(協定世界時)からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

Date/Timeを設定する

カーソルを移動し、SEL/SETボタンを押して各項目を設定します。最後にカーソルをFinishに合わせてSEL/SETボタンを押すと、設定画面が消えて時計合わせが完了します。

設定画面が消えた後は、OTHERSメニューのTime Zone（51ページ）およびClock Set（52ページ）を使用してTime ZoneおよびDate/Timeの設定を変更できます。

ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

メモリーカードを使う

本機では、映像・音声を、カードスロット内のメモリーカード（別売り）に記録します。

本機で使用可能なメモリーカード

下記のソニー製メモリーカードをご使用ください。

下記のソニー製以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

SxS PRO+ シリーズ

SxS PRO シリーズ

SxS-1 シリーズ

XQD メモリーカードシリーズ

“メモリスティック PRO-HG デュオ” HX シリーズ

SDHC カード (Class10) シリーズ

SxS PROおよびSxS-1シリーズは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

XQDメモリーカードを使用する場合は、別売のXQD ExpressCardアダプター QDA-EX1が必要です。“メモリスティック”またはSDHCカードを使用する場合は、別売のメディアアダプター MEAD-MS01またはMEAD-SD02が必要です。これらのアダプターを使用することによって、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

ご注意

- XQDメモリーカード、“メモリスティック”またはSDHCカードを使って高速再生（7ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- すべてのXQDメモリーカードの動作を保証するものではありません。動作確認済みのメモリーに関しては各販売店にお問い合わせください。
- “メモリスティック”またはSDHCカードにUDFで記録することはできません。

メモリーカードを入れる

- 1 カードスロット（6ページ）のカバーを開ける。
- 2 メモリーカードをラベルを上にしてカードスロットに差し込み、カバーを閉める。

ACCESS ランプによる状態表示

ランプ スロットの状態

赤点灯	装着されているメモリーカードにアクセス中（データの書き込み/読み出し中）
緑点灯	スタンバイ状態（装着されているメモリーカードを使用して記録・再生を行う。）
消灯	• メモリーカードが装着されていない。 • 使用できないカードが装着されている。 • 別のスロットのカードが選択されている。

メモリーカードを取り出す

- 1 カードスロット部のカバーを開け、EJECTボタン（6ページ）を押してボタンを引き出す。
- 2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。

ご注意

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するメモリーカードを切り換える

SLOT SELECTボタン（6ページ）を押します。
記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り換わりません。

ご注意

再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り換わりません。サムネイル画面（31ページ）表示中はボタン操作が有効です。

メモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニターに表示されます。

本機で使用するメモリーカードは、本機でフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（56ページ）で、スロットを指定し、Executeを選択します。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。使用できるメモリーカードに交換してください。

ご注意

メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

本機とパソコンの接続

XDCAM/XDCAM EXシリーズで記録したメモリーカードを本機側のスロットに装着して、本機とパソコンをUSBケーブルで接続して使用してください。

残りの記録可能時間を確認する

記録中/記録待機中は、LCDモニター（9ページ）の記録メディア残量表示部で、各

スロットに装着したメモリーカードの残量を確認できます。

現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で記録可能な時間を分単位で表示します。

バッテリー/メディアステータス画面（43ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

メモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、タリランプの点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

ご注意

1枚のメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。

記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」（Media Full）が表示されます。

メモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニターに表示されます。

修復を実行する

Executeを選択し、SEL/SETボタンを押します。

修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされたメモリーカードや、エラーが発生したメモリーカードは修復で

きません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のメモリーカードに交換してください。

- エラーが発生したメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

- 1 本機のコピー機能（38ページ）または専用アプリケーションソフトウェア（5ページ）を用いて、必要なクリップを他のメモリーカードへコピーする。
- 2 問題のあるメモリーカードを本機でフォーマットする。
- 3 必要なクリップをフォーマットしたメモリーカードにコピーして戻す。

修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。

本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

Wi-Fi接続して使う

本機に別売りのWi-Fiアダプターを取り付けると、コンピューターやスマートフォン、タブレットと本機をWi-Fi接続することができます。以下のWi-Fiアダプターが使用できます。

- Wi-Fiアダプター CBK-WA01
- ワイヤレスアダプター CBK-WA100
- USB無線LANモジュール IFU-WLM3
- ◆ CBK-WA100の取り付けやWi-Fi接続の方法については、CBK-WA100の取扱説明書およびインストレーションガイドをご覧ください。

Wi-Fi接続されたコンピューターやスマートフォン、タブレットと本機の間では、以下のような操作が可能です。

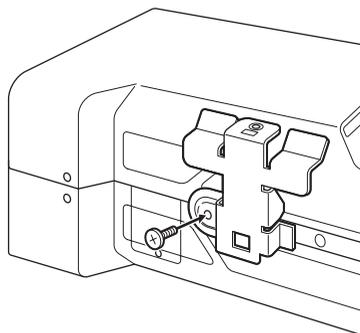
- コンピューターで作成したプランニングメタデータを本機に転送し、クリップ名やショットマークを指定する。
- スマートフォン、タブレット、またはコンピューターにWi-Fiリモコンを表示し、本機を遠隔操作する。

ご注意

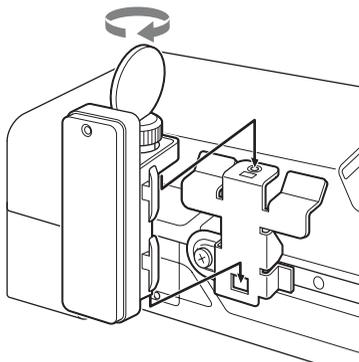
- CBK-WA01、CBK-WA100、およびIFU-WLM3を取り付けまたは取りはずすときは、本機の電源を切ってから行ってください。
- USB無線LANモジュールIFU-WLM3（別売り）は国・地域によって利用できない場合があります。
- 無線機器を本機の近くで使用すると、誤動作することがあります。本機の近くでは、無線機器の電源をできるだけ切ってください。

CBK-WA01を取り付ける

- 1 Wi-Fiアダプターブラケットを本機側面のネジ穴に取り付ける。



2 CBK-WA01裏面の突起部をWi-Fiアダプターブラケットの穴にはめ、ネジを締めて、CBK-WA01を金具に取り付ける。



3 CBK-WA01のケーブルをOPTION端子に接続する。

ご注意

Wi-Fiアダプターブラケットを破損することがありますので、運搬の際はWi-Fiアダプターを取りはずしてください。

CBK-WA01でWi-Fi接続する

Wi-Fi接続には、コンピューターと本機を一对一で接続する「アドホックモード」と、無線LANアクセスポイントを介して1台のコンピューターに複数のレコーダーを接続する（LANを構成する）「インフラストラクチャーモード」の、2つの方法があります。

ネットワークを設定するには

必要に応じて、メニューのOTHERS > Network (58ページ) の設定を変更します。

項目	設定内容
DHCP	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するかどうか Enable : 自動取得する Disable : 自動取得しない (工場出荷時の設定)
IP Address	IPアドレス ^{a)} (工場出荷時の設定 : 192.168.1.10)

項目	設定内容
Subnet Mask	サブネットマスク (工場出荷時の設定 : 255.255.255.0)
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ (工場出荷時の設定 : 0.0.0.0)
User Name	ログインユーザー名 (工場出荷時の設定 : admin)
Password	ログインパスワード (工場出荷時の設定 : pmw-50)

a) DHCPサーバーにより決定されたIPアドレス。

設定を変更したときは

SetをExecuteに設定します。確認メッセージが表示されたら、Executeを選択し、SEL/SETボタンを押します。

アドホックモードで接続するには

- 1 CBK-WA01取扱説明書の「コンピューターとWi-Fi接続する (アドホックモード)」の「コンピューター側の設定」を参照して、コンピューター側の設定を行う。
- 2 コンピューターで接続を開始する。
- 3 メニューのOTHERS > Wi-Fi > Wi-FiをEnableに設定する。
- 4 メニューのOTHERS > Wi-Fi > Scan NetworksでExecuteを選択して、SEL/SETボタンを押す。
接続先を見つけると、NETWORK SCANリストが表示されます。
- 5 接続先を選択し、SEL/SETボタンを押す。
- 6 Wi-Fiの設定内容が接続先の設定と一致していることを確認する。
SSID (ネットワーク名) : 選択した接続先の名前
Network Type (接続モード) : Adhoc Ch (無線チャンネル) : 1
Authentication (ネットワーク認証方法) : コンピューター側の設定に応じてOpen, Shared, またはWPA
Encryption (暗号化方式) : コンピューター側の設定に応じてDisable, WEP, TKIPまたはAES

WEP Key Index (キーのインデックス) : EncryptionがWEPの場合は1
Input Select (キーの入力形式) : ネットワークキー (またはセキュリティーキー) に応じて、EncryptionがWEPの場合はASCII5、ASCII13、HEX10またはHEX26、EncryptionがTKIPまたはAESの場合はASCII8-63またはHEX64

7 Keyを、コンピューター側で設定したネットワークキー (またはセキュリティーキー) に設定してSEL/SETボタンを押す。

8 SetをExecuteに設定してSEL/SETボタンを押す。

コンピューターとの接続が完了すると、表示が「Wi-Fi Setting OK」に変わります。

Wi-Fi Statusの欄に接続状態を示す■が表示されます (■の数が多いほど接続状態が良好)。また、Wireless Modeの欄に確立した接続のIEEE802.11規格 (802.11b、802.11gまたは802.11n) が表示されます。

メモ

本機で先にWi-Fi接続を開始し、コンピューターから本機にアクセスして接続することもできます。

接続を切断するには

コンピューター側で接続を切断します。

初期設定に戻す (リセットする) には

うまく接続できない場合や設定をやり直したい場合は、Wi-Fi接続に関する設定を初期設定に戻すことができます。

メニューのOTHERS > Network > Net Config ResetでExecuteを選択して、SEL/SETボタンを押します。

リセットが完了すると「Net Config Reset Done」が表示されます。

本機は、MACアドレスをSSIDとするネットワークに対して接続を試みている状態になります。

インフラストラクチャーモードで接続するには

無線 LAN アクセスポイント側の設定

次の設定が必要です。

- ネットワークID (SSID)
- 暗号化方式例 (Encryption)
- ネットワークキー (Key)

本機から無線 LAN を検索して接続するには

「アドホックモードで接続するには」(16ページ)と同様の手順を行います。

ただし、以下の違いがあります。

- 手順1と2を行いません。
- 手順7の設定は次のように変わります。

SSID (ネットワーク名) : 選択した接続先の名前

Network Type (接続モード) : Infra

Ch (無線チャンネル) : 自動設定

Authentication (ネットワーク認証方法) : アクセスポイント側の設定に応じてOpen、Shared、WPAまたはWPA2

Encryption (暗号化方式) : アクセスポイント側の設定に応じてDisable、WEP、TKIPまたはAES

WEP Key Index (キーのインデックス) : EncryptionがWEPの場合は1

Input Select (キーの入力形式) : ネットワークキー (またはセキュリティーキー) に応じて、EncryptionがWEPの場合はASCII5、ASCII13、HEX10またはHEX26、EncryptionがTKIPまたはAESの場合はASCII8-63またはHEX64

Webメニューを使用する

Wi-Fi接続時は、本機に内蔵されたWebメニューにコンピューターからアクセスできます。

Webメニューで、本機の情報/設定状態を確認したり、プランニングメタデータファイルをアップロードできます。

ご注意

記録/再生中にWebメニューにアクセスすることはできません。(Wi-Fi接続を介してファイルを送受信することができません。)

Webメニューの表示例

Product Information (製品情報)

- Model name (機器名)
- Serial No. (シリアル番号)

Network (ネットワーク設定)

- MAC Address (MACアドレス)
- IP Address (IPアドレス)
- Subnet Mask (サブネットマスク)

Wi-Fi Status (Wi-Fi 設定)

- Wireless Mode (無線LAN規格)
- SSID
- Type (接続モード)
- Channel (チャンネル)
- Authentication (ネットワーク認証方法)
- Data Encryption (暗号化方式)

Planning Metadata (プランニングメタデータ)

「Upload」をクリックするとプランニングメタデータファイルをアップロードできます (18ページ参照)。

ご注意

Webメニューの表示レイアウトは、使用するブラウザによって変わります。

Webメニューを表示するには

- 1 コンピューターでブラウザを起動し、「<http://本機のIPアドレス/>」にアクセスする。
- 2 ユーザー名とパスワードを入力して、OKをクリックする。

User name : admin
Password : pmw-50

プランニングメタデータファイルをアップロードするには

- 1 本機にSxSメモリーカードなどのメディアを挿入する。
- 2 Webメニューの「Upload」をクリックする。
- 3 Selectをクリックして、Choose Fileダイアログを表示する。

- 4 アップロードしたいプランニングメタデータファイルを選択し、Openをクリックする。

- 5 Executeをクリックする。
プランニングメタデータが本機のメモリーに読み込まれ、SxSメモリーカード内に格納されます。
転送が完了すると「Status」欄に「OK」が表示されます。

Wi-Fiリモコンを使用する

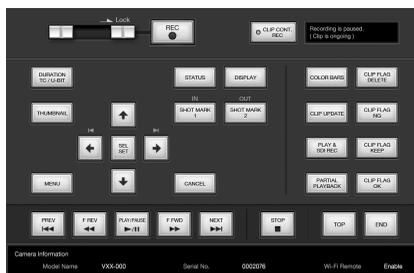
Wi-Fi接続時は、スマートフォン、タブレット、コンピューターなどのデバイスから、本機に内蔵されたWi-Fiリモコンにアクセスすることができます。

Wi-Fiリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。遠隔操作で再生や記録の開始/停止ができるため、本機を離れた場所に固定する場合などに大変便利です。

Wi-Fi Remote 画面 (スマートフォン)



Wi-Fi Remote 画面 (タブレット)



Wi-Fiリモコンを表示するには

デバイスの画面にWi-Fiリモコンを表示するには、本機とデバイスそれぞれに設定が必要です。

本機の設定をする

- 1 メニューのOTHERS >Network >DHCPをEnableに設定する。
- 2 メニューのOTHERS >Wi-Fi >Wi-Fi をEnableに設定する。
- 3 メニューのOTHERS >Wi-Fi >Wi-Fi RemoteをOnに設定する。

デバイスの設定をする

スマートフォン、タブレット、コンピューターなどの設定をします。

- 1 本機とデバイスをWi-Fi接続する。
 - ◆CBK-WA100およびIFU-WLM3でのWi-Fi接続について詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 デバイスでブラウザを起動し、「<http://本機のIPアドレス（メニューのOTHERS >Network >IP Addressの設定値）/rm.html>」にアクセスする。
 例：IPアドレスが「192.168.1.10」の場合アドレスバーに「<http://192.168.1.10/rm.html>」と入力する。
 接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。
 以降は、画面表示のとおり操作してください。
 Lockつまみを右にスライドすると、RECボタンの操作を禁止することができます。

ご注意

- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致なくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能なくなることがあります。

- ご利用のスマートフォン、タブレット端末によっては、アドホックモードを搭載していない場合があります。詳しくは、スマートフォン、タブレット端末の取扱説明書をご覧ください。

対応デバイスについて

Wi-Fiリモコンとして使用できるデバイス、OS、ブラウザは以下のバージョン以降です。

デバイス	OS	ブラウザ
PC	Windows 7	Internet Explorer 9
	Windows 8	Internet Explorer 10
Mac	OS 10.7 OS 10.8	Safari
スマートフォン	Android 4.1	Chrome
	iOS 6	Safari
タブレット	Android 4.1	Chrome
	iOS 6	Safari

基本設定を変更する

入力信号を選択する

記録、あるいは送出するための入力信号として、SDIかi.LINKのどちらかを選択します。設定は、VIDEO SETメニューのInput Source Selectで行います。

i.LINKを選択すると、i.LINKへの出力はできません。

UDF/HDモードの場合は、i.LINKは選択できません。

ビデオフォーマット

UDF/FATを切り換える

OTHERSメニューのSystem (53ページ)の、UDF/FATで切り換えます。

切り換えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

HDモード/SDモードを切り換える

OTHERSメニューのSystem (53ページ)の、HD/SDで切り換えます。

切り換えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

記録：再生中にUDF/FATおよびHD/SDを切り換えることはできません。

フォーマットを変更する

SDI IN端子には、OTHERSメニューのRec Format (54ページ) で設定したビデオフォーマットに適合する入力信号を接続する必要があります。

SDI OUT、VIDEO OUT、およびHDMI OUT端子から出力される信号は、設定したビデオフォーマットに従って出力されます。選択できるフォーマットは、UDF/FAT、HD/SD、使用地域 (NTSC/PAL) の設定 (53ページ) によって異なります。

設定可能なビデオフォーマットおよびそれに対して入力可能なフォーマットを以下に示します。

- ◆出力信号フォーマットについては、「出力のフォーマットと制限」(69ページ) をご覧ください。

NTSC の場合

UDF/HD モード

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
HD422 50/1080/ 59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1920x1080/ 59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1440x1080/ 59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HD422 50/1080/ 29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1920x1080/ 29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1440x1080/ 29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HD422 50/1080/ 23.98P	1080/23.98PsF
HQ 1920x1080/ 23.98P	1080/23.98PsF
HQ 1440x1080/ 23.98P	1080/23.98PsF
HD422 50/720/ 59.94P	720/59.94P
HQ 1280x720/59.94P	720/59.94P

FAT/HD モード

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
HQ 1920x1080/ 59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1440x1080/ 59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
SP 1440x1080/ 59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1920x1080/ 29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1440x1080/ 29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1920x1080/ 23.98P	1080/23.98PsF
HQ 1440x1080/ 23.98P	1080/23.98PsF

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
HQ 1280x720/59.94P	720/59.94P

UDF/SD モード

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
DVCAM 59.94i	480/59.94i
IMX50 59.94i	486/59.94i

FAT/SD モード

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
DVCAM 59.94i	480/59.94i

PAL の場合

UDF/HD モード

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
HD422 50/1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1920x1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1440x1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
HD422 50/1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1920x1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1440x1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HD422 50/720/50P	720/50P
HQ 1280x720/50P	720/50P

FAT/HD モード

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
HQ 1920x1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1440x1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
SP 1440x1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1920x1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1440x1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1280x720/50P	720/50P

UDF/SD モード

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
DVCAM 50i	576/50i
IMX50 50i	576/50i

FAT/SD モード

Rec Formatの設定	入力信号フォーマット
DVCAM 50i	576/50i

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UB SETメニュー（50ページ）のTimecodeおよびTC

Formatを使用して設定します。タイムコードには、次の記録方法があります。

プリセットモード (Preset)

初期値を設定し、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。次のいずれかの歩進モードを選択できます。

- **フリーラン (Free Run)**：タイムコードが常に歩進します。
- **レックラン (Rec Run)**：記録中のみタイムコードが歩進します。

リジェネレートモード (Regen)

最後に記録したクリップのタイムコードに連続させて、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。

外部リジェネレートモード (ExtRegen)

外部からの入力信号に重畳されたタイムコードに同期させて、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。入力されたSDI信号にタイムコードが重畳されていない場合は、内蔵のタイムコードジェネレーターの値が初期値になります。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在年月日に設定することも可能です。設定には、TC/UB SETメニューのUsers Bit（50ページ）を使用します。

タイムデータを表示する

DISPLAYボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます（9ページ）。表示は、DURATION/TC/U-BITボタン（7ページ）を押すと、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り換わります。

表示	内容
TCG **:*:*:*	タイムコード
TCR **:*:*:*	入力信号に重畳されたタイムコード
CLK **:*:*:*	タイムコード (Clockモード)
UBG * * * * *	ユーザービット
UGR * * * * *	入力信号に重畳されたユーザービット
DUR **:*:*	記録開始からの経過時間

送出モードを設定する

本機で映像を送出しながら並行して編集を行う場合に、SDI OUT端子から出力する映像信号の送出モードを設定できます。設定は、VIDEO SETメニューのOutput Mode Selectで行います。HDMI端子、VIDEO OUT端子、およびi.LINK端子からは、LCDモニターと同じ映像が出力されます。

Normalモード：LCDモニターに表示されている映像と同じ映像を出力します。

Throughモード：操作状況にかかわらず、常にSDI IN入力信号を出力します。

Autoモード：本機で再生操作（PLAY/PAUSE、F FWD、F REV）を行っているときは、再生映像を出力します。それ以外のときは、SDI IN入力信号を出力します。Autoモードでは、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/Video Out Super（47ページ）がOffになり、文字情報が出力されません。

記録する

1 記録する入力信号をVIDEO SETメニューのInput Source Selectで選択する。

2 RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押す。

設定されているビデオフォーマットと入力信号のフォーマットが異なっていたり、信号が入力されていないなどの理由で正常な記録が行われていない場合は、「●REC」表示が点滅します。

記録を終了するには

STOP/EEボタンを押します。

記録が停止し、本機がE-Eモードになります。

クリップを削除するには

Last Clip DEL機能（26ページ）を使用すると、直前に記録したクリップを削除できます。All Clips DEL機能（26ページ）を使用すると、SxSメモリーカードに記録された全クリップを削除できます。クリップを指定して削除する場合は、サムネイル画面（31ページ）から操作してください。

クリップ（記録データ）

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、OTHERSメニューのClip（54ページ）のAuto Namingで選択した方法で、自動的にクリップ名がつけられます。

初期設定では、Auto NamingがPlanに設定されています。プランニングメタデータが読み込まれていれば、プランニングメタデータに設定されているクリップ名がつけられます。Auto NamingをTitleに変更すると、「4～46文字の英数字」と「4桁の番号」からなるクリップ名がつけられます。

例：ABCD0001

クリップ名の「4～46文字の英数字」部分にはOTHERSメニューのClipで記録開始前に任意の文字列を設定することも可能です。(記録後に変更することはできません。)
「4桁の番号」部分は、記録順に自動的にカウントアップされます。

記録されるクリップについて

クリップのファイルサイズの上限は、UDFで43 GB、FAT/HDモードで4 GB、FAT/SDモードで2 GBです。

長時間の連続記録を行うと、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがあります(最大分割数は99)。複数のファイルに分割された場合でも、本機上ではひとつのクリップとして扱います。

クリップの記録時間によっては、AとBのカードスロットに挿入した2枚のSxSメモリーカードにまたがって記録できます。コンピューターを使用して、記録したクリップをHDDなどにコピーする場合は、連続性を保つため、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードして使用することをおすすめします(5ページ)。

ご注意

Explorer (Windows環境) や Finder (MAC環境) を使用してコピーなど行った場合は記録素材の連続性、関連性を保持できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

クリップの最大時間

クリップの最大時間は、FAT (MP4、AVI) では24時間、UDF (MXF) では6時間です。録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

便利な機能を使う

カラーバー / 基準音声信号

VIDEO SETメニューのColor Bars On/Off (46ページ) をOnに設定すると、映像に代えてカラーバーを出力できます。Offに設定すると撮像画に戻ります。

AUDIO SETメニューのAudio Input (46ページ) で、1KHz ToneをOnに設定すると、カラーバーと同時に1KHzの基準音声信号が出力されます。

カラーバーと基準音声信号は、SDI OUT端子、HDMI OUT端子、i.LINK端子、VIDEO OUT端子 (カラーバーのみ)、AUDIO OUT端子 (基準音声信号のみ) から出力されます。

カラーバーの種類は、VIDEO SETメニューのColor Bars Typeで選択できます。

ショットマーク (UDF、FAT/HDモード)

UDFまたはFAT/HDモードで記録したクリップでは、映像/音声の重要なシーンにショットマークを記録できます。これにより、「ショットマーク画面」(40ページ) で目的のシーンを容易に頭出しできるようになります。

本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できます。

ショットマークは記録中に随時設定するか、記録終了後にサムネイル画面で再生画像を確認しながら追加できます。

ショットマーク1、ショットマーク2をイン点、アウト点として扱い、イン点アウト点の間を再生することもできます(34ページ)。

記録中にショットマークを設定する

リモコン操作を有効にして(53ページ)、ショットマークを入れたいシーンでSHOTMARK 1ボタン、またはSHOTMARK 2ボタンを押します。

アサインブルボタン（24ページ）に、Shot Mark1またはShot Mark2を割り当てて使用することもできます。

再生中にショットマークを設定する

クリップの再生中に、ショットマークを入れたい部分でShot Mark1またはShot Mark2を割り当てたアサインブルボタン、またはリモコンのSHOTMARK 1または2ボタンを押します。

ご注意

SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。クリップの先頭と末尾にはショットマークは記録できません。

ショットマーク画面でもショットマークの追加、削除ができます（41ページ）。

- ◆ プランニングメタデータを使ってショットマーク名をつける方法は、「プランニングメタデータでショットマーク名を設定する」（29ページ）をご覧ください。

OK/NG/KPフラグ（UDFのみ）

UDFで記録したクリップは、OK/NG/KPフラグを付加できます。フラグを付加することによって、必要なクリップのみサムネイル画面（OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面）（32ページ）に表示できます。

ご注意

クリップを保護するには、Lock Clipの設定（36ページ）が必要です。

フラグを付加する

記録中または再生中に、Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keepを割り当てたアサインブルボタンを押します。

フラグを削除する

Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keepを割り当てたアサインブルボタンを2回続けて押します。

- ◆ サムネイル画面からもOK/NG/KPフラグを付加、削除できます。詳しくは「OK/NG/KPフラグ（UDFのみ）」（38ページ）をご覧ください。

OKマーク（FAT/HDモードのみ）

FAT/HDモードで記録したクリップは、OKマークを付加することによって、誤って削除・分割されることを防ぐことができます。また、OKマークでマーキングすることによって、必要なクリップのみサムネイル画面（OKクリップサムネイル画面）（32ページ）に表示できます。

OK マークを付加する

記録を停止し、OK Markを割り当てたアサインブルボタンを押します。記録待機中に、選択されているメモリーカードに最後に記録されたクリップ（Last Clip）にOKマークを付加できます。

OK マークを削除する

OK Markを割り当てたアサインブルボタンを押して、Executeを選びます。記録待機中に、メモリーカードの最後のクリップに付加されたOKマークのみ削除できます。

ひとつ以上前のクリップに OK マークを付加・削除する

サムネイル画面から設定します（38ページ）。

アサインブルボタン

本機には、機能を変更して使用できるアサインブルボタン（7ページ）が2個あります。

機能を変更するには

OTHERSメニューのAssign Button（52ページ）を使用します。割り当てられた機能は、ボタン/リモートステータス画面（43ページ）で確認できます。

クリップコンティニューアスレック（UDFのみ）

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニューアスレック機能

を使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成できます。

短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックススタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。

記録前の設定

VIDEO SETメニューのClip Cont. Rec Setting (48ページ) をOnにします。クリップコンティニユアスレック機能が有効になり、画面上に「CONT」が表示されます(9ページ)。

アサインブルボタン(24ページ)にClip Continuous Rec(クリップコンティニユアスレック機能)を割り当て、ボタン操作でON/OFFを切り換えることもできます。

ご注意

- 記録中はクリップコンティニユアスレックモードにできません。
- FATでは使用できません。

クリップコンティニユアスレックで記録する

RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押します。

記録を開始すると、画面上の「CONT」表示が「●REC」(●は赤)表示に変わります。

記録を一時停止するには、PLAY/PAUSEボタンを押します。再開するには、RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押します。

STOP/EEボタンを押すと、クリップが閉じられます。クリップコンティニユアスモードで、継続中のクリップがない場合は、「CONT」表示が点滅します。

赤外線リモコンで操作する場合は、RECボタンで記録を開始し、REC PAUSEまたはPLAY/PAUSEボタンで一時停止します。再開するには、再びRECボタンを押します。STOPボタンを押すとクリップが閉じられます。

ご注意

- 記録中または記録待機中(「CONT」表示が点灯した状態)にSxSメモリーカードを取り出したり、バッテリーや電源を抜くと、SxSメモリーカードの修復が必要になります。クリップコンティニユアスレックモードを終了してからSxSメモリーカードを取り出してください。なお、「CONT」が点滅(1回/秒)しているときは、SxSメモリーカードを取り出すことができます。
- 最低2秒間記録してから記録を停止してください。
- Input Source Selectがi.LINKの場合は、クリップコンティニユアスレック機能が無効になります。

クリップコンティニユアスレックモードを終了するには

記録待機中に、VIDEO SETメニューのClip Cont. Rec Setting(48ページ)をOffにします。

動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。

- クリップ操作(クリップのロック、削除、または名前の変更)
- メモリーカードスロットの切り換え
- 記録フォーマットの変更
- 電源ボタンで電源を切る
- サムネイル画面を表示する
- クリップを再生する

ループ記録(UDFのみ)

2枚のSxSメモリーカードを使用して交互に記録、消去を行うことで、一定時間の映像を記録し続けることができます。

記録前の設定

VIDEO SETメニューのSegment Loop Rec(48ページ)をOnにします。ループ記録が有効になり、画面上に「SL-REC」が点灯します(9ページ)。

また、Segment Durationで記録保持時間を設定します。

ループ記録では、記録を停止したときのメモリーカードの記録状況によって、クリップに記録が残っている時間が異なります。Segment Durationで15~35minを選択した

ときは、最短15分、最長35分の記録が残ります。Segment Durationに15~35minを選択する場合、各SxSメモリーカードの空き容量が25分以上必要です。30~65minの場合は、40分以上必要です。

ご注意

- ループ記録には、SxSメモリーカードを使用してください。メディアアダプターを使って他のメモリーカードに記録することはできません。
- FATでは使用できません。

ループ記録を開始する

RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押します。

記録を開始すると画面上に「●REC」が表示されます。

STOP/EEボタンを押すと、記録を停止しクリップが閉じられます。同時に、Segment Loop Recの設定がOffになります。

ループ記録中にRECボタンとPLAY/PAUSEボタンを同時に押すと、通常記録に切り換わり、シームレスにクリップの記録が続けられます。切り換わると、画面上の「SL-REC」が消灯します。

ご注意

- ループ記録はSxSメモリーカードに対して記録/削除を繰り返し行うため、書き換え寿命が早くなります。定期的メモリーカードの残寿命を確認してください。
- ループ記録を1週間以上継続して使用する場合は、週に一度本機を再起動してください。また、ループが行われないなど動作に異常がみられる場合も、再起動してください。

動作制限

ループ記録中に以下の操作を行うと、通常記録に切り換わり、Segment Loop Recの設定が自動的にOffになります。

- メモリーカードスロットの切り替え
- 記録中でないメディアの取り出し

クリップの削除

記録待機中は、直前に記録したクリップの削除（Last Clip DEL）およびSxSメモリーカードに記録されたクリップの一括削除（All Clips DEL）が可能です。

- ◆ サムネイル画面でのクリップ削除については、「クリップの削除」（39ページ）をご覧ください。

アサインボタンで削除する

あらかじめアサインボタンのいずれかにLast Clip DEL機能を割り当ててください（24ページ）。

Last Clip DEL機能を割り当てたアサインボタンを押して、Executeを選択すると、最後に記録されたクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

セットアップメニューで削除する

OTHERSメニューのClip（54ページ）からLast Clip DELを選択してExecuteを選択し、再度Executeを選択すると、最後に記録されたクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

ご注意

クリップコンティニュースレックがOnのときは、Last Clip DELを選択できません。

クリップを一括削除する

OTHERSメニューのClip（54ページ）からAll Clips DELを選択してExecuteを選択し、再度Executeを選択すると、すべてのクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- FATの場合は、OKマーク（24ページ）が付加されたクリップは削除されません。UDFの場合は、Lock Clip（36ページ）が設定されているクリップは削除されません。

設定データの保存と呼び出し

本機では、メニューの全設定データを、セットアップファイルとしてSxSメモリーカードまたはUSBメモリーに保存できます。保存したセットアップファイルを呼び出すことによって、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

ご注意

OTHERSメニューのClock SetとHours Meterの値は保存されません。

セットアップファイルを保存する

SxS メモリーカードを使うときは

セットアップファイルは「SETUP.SUF」というファイル名で、1枚のSxSメモリーカードに1ファイルのみ保存できます。

1 セットアップファイルを保存するSxSメモリーカードをカードスロットに入れる。

挿入したカードが選択されていることを確認してください。

2 OTHERSメニューのSetup Data (51ページ) のStore(SxS)を選び、Executeを選択する。

ご注意

手順1で指定したSxSメモリーカードにすでにセットアップファイルが保存されている場合は、上書きを許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

USB メモリーを使うときは (UDF モード時)

OPTION端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します。

手順2でStore(USB) >Executeを選択します。

セットアップファイルを呼び出す

SxS メモリーカードを使うときは

SxSメモリーカードに保存したセットアップファイルを呼び出すと、本機は保存された状態に設定されます。

1 セットアップファイルを保存したSxSメモリーカードをカードスロットに入れる。

挿入したカードが選択されていることを確認してください。

2 OTHERSメニューのSetup Data (51ページ) のRecall(SxS)を選び、Executeを選択する。

USB メモリーを使うときは (UDF モード時)

OPTION端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します。

手順2でRecall(USB) >Executeを選択します。

標準設定値に戻す

OTHERSメニューでAll Resetを実行すると、メニューやボタン操作で変更した本機の状態を、すべて標準設定値 (工場出荷時の設定) に戻すことができます。

プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影できます。

本機では、以下の言語で定義されたクリップ名やショットマーク名を表示できます。

英語/中国語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/スペイン語/オランダ語/ポルトガル語/スウェーデン語/ノルウェー語/デンマーク語/フィンランド語

ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、LCDモニターに表示されない場合があります。
- フランス語、オランダ語、フィンランド語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、一部の文字が他の類似のフォントで表示されません。
- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、LCDモニターに正しく表示されないことがあります。

プランニングメタデータファイルを読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルと一緒に記録するには、記録前にプランニングメタデータファイルの本機のメモリーに読み込んでおく必要があります。

SxS メモリーカードを使うときは

以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル (.xml) を保存したSxSメモリーカードを本機のカードスロットに挿入し、OTHERSメニューのPlan.Metadata (56ページ) でLoad / Slot(A)またはLoad / Slot(B)を選択して読み込むファイルを選びます。

UDF : General/Sony/Planning

FAT : BPAV/General/Sony/Planning

USB メモリーを使うときは (UDF モード時)

1 FAT32ファイルシステムでフォーマット済みのUSBメモリーを、OPTION端子に接続する。

ファイルリストが表示されます。

で注意

ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。

プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、USBメモリー内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー (General/Sony/Planning) に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。

2 ファイルリストから読みたいファイルを選択し、SEL/SETボタンを押す。

プランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認できます。

OTHERSメニューのPlan.Metadata (56ページ) でPropertiesを選択し、Executeを選びます。

Wi-Fi 機能を使うときは

本機とコンピューターをWi-Fi接続している場合は、コンピューターから本機のWebメニューにアクセスしてファイルを送信します。

1 コンピューターでブラウザを起動し、ブラウザのアドレスバーに「http://本

機のIPアドレス (58ページ)」を入力する。

2 ユーザー名とパスワードを入力して、OKをクリックする。

User name: admin

Password: pmw-50

読み込んだプランニングメタデータを消去する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータをメモリーから消去します。

OTHERSメニューのPlan.Metadata (56ページ) でClear >Executeを選びます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述できます。

- LCDモニター上に表示できるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

OTHERSメニューのPlan.Metadata (56ページ) でClip Name Dispを選択し、どちらのクリップ名を表示するか選びます。プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、LCDモニターの動作状態表示の下にクリップ名が表示されます。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。

「Typhoon」はASCII形式 (44文字以下) で記述しています。「台風東京上陸」はUTF-8形式 (44バイト以下) で記述しています。

「_sp」はスペース、←は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="
UTF-8"sp?>←
<PlanningMetadataspxmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata" spassignId="
P0001" spcreationDate="
2011-08-20T17:00:00+09:00"sp
```

```
lastUpdate="
2011-09-28T10:30:00+09:00" sp
version="1.00">←
  <Properties sppropertyId="
assignment" spupdate="
2011-09-28T10:30:00+09:00" sp
modifiedBy="Chris">←
  <Title spusAscii="Typhoon" sp
xml:lang="ja">台風東京上陸
</Title>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト（または44文字）です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

プランニングメタデータで記述したクリップ名をつける

クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込み、OTHERSメニューのClip（54ページ）でAuto Namingを選択し、Planを選びます。記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー（_）と5桁の通し番号（00001～99999）が付加された形式で自動生成されます。

例：台風東京上陸_00001、台風東京上陸_00002、...

ご注意

- 通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。
- 他のプランニングメタデータを読み込むと、5桁の通し番号は00001に戻ります。
- 日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

ショットマーク1、2を記録するとき、プランニングメタデータで定義した文字列でショットマーク名を記録できます。

ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。ASCII形式（32文字以下）、またはUTF-8形式（16文字以下）で記述します。「sp」はスペース、←は改行を表します。

ご注意

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xml spversion="1.0" spencoding="
UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata" spassignId="
H00123" spcreationDate="
2011-04-15T08:00:00Z" splastUpdate="
2011-04-15T15:00:00Z" spversion="
"1.00">←
  <Properties sppropertyId="
"assignment" spclass="original" sp
update="2011-04-15T15:00:00Z" sp
modifiedBy="Chris">←
  <Title spusAscii="Football
Game" spxml:lang="ja">
Football Game 15/04/2011
</Title>←
  <Meta spname="_ShotMark1" sp
content="Goal"/>←
  <Meta spname="_ShotMark2" sp
content="Shoot"/>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。

プランニングメタデータを一括コピーする

1枚のSxSメモリーカードのGeneralフォルダーに記録されているプランニングメタデータを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーできます。

OTHERSメニューのCopy All (56ページ)からGeneral Filesを選択します。

USBメモリーについて

以下のソニー製USBメモリーを使用することをおすすめします。

ポケットビット高速タイプ Q シリーズ、M シリーズ

ご注意

- 記録容量が4 GBから32 GBまでのUSBメモリーを使用してください。
- 推奨品以外のUSBメモリーは、OPTION端子に接続しても認識されないことがあります。

フォーマット（初期化）するには

USBメモリーはFAT32ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

1 USBメモリーを、OPTION端子に接続する。

未フォーマットの場合や本機が対応しないフォーマット形式の場合は、フォーマットを実行するかを確認するメッセージがLCDモニターに表示されます。

2 Executeを選択し、SEL/SETボタンを押す。

フォーマットが終了すると、「Format USB Memory Done」が表示されます。USBメモリー内に、\MSSONYPRO\XDCAM\MEMDISC フォルダーと\General\Sony\Planning フォルダーが自動生成されます。

USBメモリーを修復するには

ファイルシステムが壊れているなど正常にマウントできない状態のUSBメモリーを接続すると、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニター画面に表示されます。

Executeを選択し、SEL/SETボタンを押してください。

修復が終了すると、「Restore USB Memory Done」が表示されます。

サムネイル画面

THUMBNAILボタン（7ページ）を押すと、SxSメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。
サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、LCDモニター、外部ビデオモニターに表示できます。
STOP/EEボタン（7ページ）を押すと、サムネイル画面を終了し、記録待機画面に戻ります。

ご注意

通常のサムネイル画面では、同じSxSメモリーカードにHD/SDのクリップが混在して記録されている場合でも、OTHERSメニューのSystem（53ページ）のHD/SDで選択されているモードのクリップのみ表示されます。HD/SDモードにかかわらず記録されている全クリップを表示したい場合は、オールクリップサムネイル画面（32ページ）に切り換えます。

サムネイル画面の構成

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



1. サムネイル（縮小画）

UDF、FAT/HDモード：表示されるサムネイルは、各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。任意のフレームに変更することもできます（41ページ）。クリップがロックされている、またはOKマークが付加されている場合はロックマーク  が表示されます。

FAT/SDモード：表示されるサムネイルは、各クリップの先頭フレームです。ファイルサイズが2 GBを超えて分割保存されたクリップの場合はテイクマーク  が表示されます。それぞれの分割ファイルは、クリップエクスパンド画面（39ページ）で見ることができます。

2. 収録年月日と録画開始時刻

3. クリップ名

FAT/SDモードでファイルサイズが2 GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/ (スラッシュ) で区切ってクリップの分割数が表示されません。

4. ロックマーク (UDF、FAT/HDモードのみ)

UDF：選択しているクリップがロックされている場合にロックマークが表示されません。

FAT/HDモード：選択しているクリップにOKマークが付加されている場合にロックマークが表示されます。

5. AV単独ファイルアイコン (UDF、FAT/HDモードのみ)

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでSxSメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべての操作と表示ができない可能性があることを示します。

6. 記録時のビデオフォーマット

7. ファイルフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマット (MXF、MP4、AVI) が表示されます。(UDF/HDモード時は表示されません。)

8. クリップの収録時間 (Duration)

9. タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

10. OK/NG/KPマーク (UDF、FAT/HDモードのみ)

UDF：選択したクリップにOK/NG/KPフラグが付加されている場合は、そのマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択したクリップにOKマークが付加されている場合は、OKマークが表示されます。

11. 特殊記録撮影情報 (UDF、FAT/HDモードのみ)

特殊記録モード (スロー & クイックモーション、インターバルレック、フレームレック) で記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。

スロー & クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側に「撮影フレームレート/再生フレームレート」が表示されます。

サムネイル画面の種類を変更する

THUMBNAILボタン (7ページ) を押すごとに、以下のとおりサムネイル画面の種類を切り換えることができます。

UDF

通常のサムネイル画面、OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

FAT/HD モード

通常のサムネイル画面、OKクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

FAT/SD モード

通常のサムネイル画面とオールクリップサムネイル画面が切り換わります。

OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面

選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OK/NG/KPフラグのいずれかのフラグが付加されたクリップ、またはフラグが付加されていないクリップ (None) のみが表示されます。

OTHERSメニューのClip (54ページ) のFilter Clipsで、表示するフラグを選択できます。

OKクリップサムネイル画面

選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OKマークが付加されたクリップのみが表示されます。

オールクリップサムネイル画面

HD/SDモードにかかわらず、記録されているすべてのクリップが表示され、選択されているSxSメモリーカードに他のモードのク

リップも記録されているかどうかを確認することができます。

ご注意

オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。
もう一度THUMBNAILボタンを押すと通常のサムネイル画面に戻り、再生やクリップ操作が可能になります。

SxSメモリーカードを切り換える

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン（6ページ）を押して切り換えます。

ご注意

サムネイル画面が表示されているとき、またはSTOP/EEボタンを押して外部入力画像が表示されているときのみ、切り換え可能です。
再生中にSxSメモリーカードを切り換えることはできません。
またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

クリップの再生

再生には上面パネル（7ページ）の再生コントロールボタンを使用します。赤外線リモコンを有効にしたときは、リモコンのボタンでも操作できます（53ページ）。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

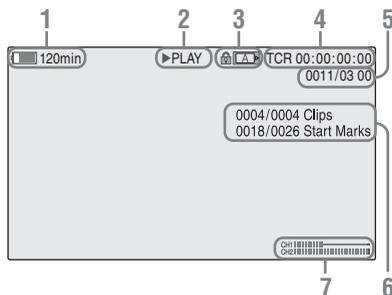
- 1 再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
- 2 **PLAY/PAUSE**ボタンを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. バッテリー残量/DC IN電圧表示

2. 再生モード表示

3. SxSメモリーカード表示

SxSメモリーカードがプロテクトされている場合は、左に  マークが表示されます。

4. タイムデータ表示

DURATION/TC/U-BITボタンを押すたびに、タイムコード（TCR）表示とユーザービット（UB表示）が切り換わります。

5. クリップ番号/クリップ総数

FATの場合に表示されます。また、UDFでOTHERSメニューのClip（54ページ）のFind ModeがClipの場合に表示されます。

6. クリップ番号/クリップ総数、エッセンスマーク番号/エッセンスマーク総数

UDFでOTHERSメニューのClip（54ページ）のFind ModeがRec Startの場合に表示されます。

7. オーディオレベル表示

記録時のオーディオレベルを表示します。

イン点－アウト点間を再生する

再生開始位置と終了位置を指定しておく、その間だけを再生することができます。選択したクリップ以降のクリップのイン点－アウト点間が連続して再生されます。

ご注意

FAT/SDモードでは、ショットマークを設定できないため、イン点－アウト点間再生はできません。

イン点アウト点を指定する

クリップにショットマーク1およびショットマーク2を設定すると、イン点とアウト点として扱われます。

他の機器でショットマークを記録したクリップを本機で再生する場合は、本機で記録したクリップと同様に、ショットマーク1～2間の再生ができます。

本機でショットマークを記録したクリップを他の機器で再生した場合は、イン点アウト点としては扱われません。

再生するクリップを選択する

OKフラグ、またはOKマークの付いたクリップのみ、イン点－アウト点再生が可能です。

区間再生するクリップを選択するには、サムネイル画面でクリップにOKフラグまたはOKマークを付加します。

イン点－アウト点間を再生する

クリップ操作メニューでPARTIAL PLAYBACKを選択します。

OKクリップの先頭クリップから再生が始まります。

先頭クリップの再生が終わると、次のOKフラグ/マークの付加されたクリップを連続して再生します。

ショットマーク1のみ設定されているクリップは、ショットマーク1からクリップの最後まで再生します。ショットマーク2のみ設定されているクリップは、クリップの先頭からショットマーク2まで再生します。

クリップ操作メニューでP-PLAY & SDI RECを選択すると、イン点－アウト点間再生を始めると同時にRECトリガー信号を出力し、CBK-WA100でプロキシファイルの記録を開始することができます。CBK-WA100での記録を停止する場合は、STOP/EEボタンを押して再生とRECトリガーの出力を停止します。

ご注意

イン点－アウト点再生の場合、i.LINK (DVCAM/HDV)の出力は行われません。

トリム：イン点、アウト点を微調整する

再生開始位置、終了位置を細かく指定することができます。

- 1 ショットマーク画面（40ページ）を表示する。
- 2 調整したいショットマークの位置を選択し、クリップ操作メニューのTRIM SHOT MARK1/2を選択する。
選択されたフレームの静止画が表示されます。

3 高速再生、再生/一時停止、スロー再生（右/左ボタンを押す）を行い、ショットマークを設定したいフレームに移動する。

4 SEL/SETボタンを押す。
現在の位置に**3**で選択したのと同じ種類のショットマークが設定され、OKクリップサムネイル画面に戻ります。

クリップを繰り返し再生する

1 サムネイル画面で再生したいクリップのサムネイルを選択する。

2 クリップ操作メニューのCLIP REPEATを選択する。
選択したクリップの再生が始まり、クリップの最後に到達すると最初に戻って再生します。

繰り返し再生を停止するには

STOP/EEボタンまたはTHUMBNAILボタンを押します。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカー（6ページ）またはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子（6ページ）にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。

VOLUMEスイッチ（6ページ）を押して音量を調整します。

モニターするチャンネルは、AUDIO SETメニューのAudio Output（46ページ）で選択できます。

頭出しする

最初のクリップの先頭から再生するには PREVボタンとF REVボタンを同時に押します。

最後のクリップの先頭から再生するには F FWDボタンとNEXTボタンを同時に押します。

クリップ操作

サムネイル画面などの再生モードでは、クリップ操作メニューを使用してクリップの操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。下記の画面でSEL/SETボタンを押すと、それぞれ対応するクリップ操作メニューを表示できます。

クリップ操作メニュー構成

サムネイル画面（36ページ）

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD (FATのみ)
- OK MARK DELETE (FATのみ)
- OK FLAG ADD (UDFのみ)
- NG FLAG ADD (UDFのみ)
- KEEP FLAG ADD (UDFのみ)
- CLIP FLAG DELETE (UDFのみ)
- LOCK CLIP (UDFのみ)
- UNLOCK CLIP (UDFのみ)
- COPY CLIP(A)
- COPY CLIP(B)
- COPY CLIP(USB)
- DELETE CLIP
- ALL MARKS
- SHOT MARK1
- SHOT MARK2
- REC START MARK (UDFのみ)
- EXPAND CLIP
- CLIP REPEAT
- PARTIAL PLAYBACK
- P-PLAY & SDI REC

クリップエクスパンド画面（40ページ）

- CANCEL
- EXPAND(COARSE)

- EXPAND(FINE)
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP (FATのみ)
- CLIP REPEAT

ショットマーク画面 (41ページ)

- CANCEL
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP (FATのみ)
- CLIP REPEAT
- TRIM SHOT MARK1
- TRIM SHOT MARK2
- EXPAND(FINEST)

ご注意

SDモードでは選択できるメニューが制限されます。

クリップ操作メニューの基本操作

機能を選択し、SEL/SETボタンを押してください。CANCELボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。

クリップ操作メニューでCANCELを選択すると、クリップ操作メニューが消えます。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

サムネイル画面のクリップ操作メニュー

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する (37ページ)。

項目	機能
OK MARK ADD ¹⁾	OKマークを付加する (38ページ)
OK MARK DELETE ¹⁾	OKマークを削除する (38ページ)。
OK FLAG ADD ²⁾	OKフラグを付加する (38ページ)。
NG FLAG ADD ²⁾	NGフラグを付加する (38ページ)。
KEEP FLAG ADD ²⁾	KPフラグを付加する (38ページ)。
CLIP FLAG DELETE ²⁾	フラグを削除する (38ページ)。
LOCK CLIP ²⁾	クリップをロックして保護する (38ページ)。
UNLOCK CLIP ²⁾	保護されたクリップのロックを解除する (38ページ)。
COPY CLIP (A)	選択中のクリップをスロットAまたはBのSxSメモリーカードにコピーする (38ページ)。
COPY CLIP (B)	
COPY CLIP (USB)	選択中のクリップをUSBメディアにコピーする (38ページ)。
DELETE CLIP	クリップを削除する (39ページ)。
ALL MARKS ³⁾	エッセンスマークが記録されているすべてのフレームをサムネイル表示する (40ページ)。
SHOT MARK1 ³⁾	ショットマーク1が記録されているフレームのみをサムネイル表示する (40ページ)。
SHOT MARK2 ³⁾	ショットマーク2が記録されているフレームのみをサムネイル表示する (40ページ)。
REC START MARK ²⁾	レックスタートマークが付加されているフレームおよび先頭フレームにレックスタートマークが付加されていないクリップの先頭フレームをサムネイル表示する (40ページ)。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える (39ページ)。
CLIP REPEAT	選択したクリップを繰り返し再生する (35ページ)。
PARTIAL PLAYBACK	イン点ーアウト点間を再生する (34ページ)。(OKクリップサムネイル画面のみ)
P-PLAY & SDI REC	イン点ーアウト点間再生と同時にRECトリガー信号を出力する (34ページ)。(OKクリップサムネイル画面のみ)

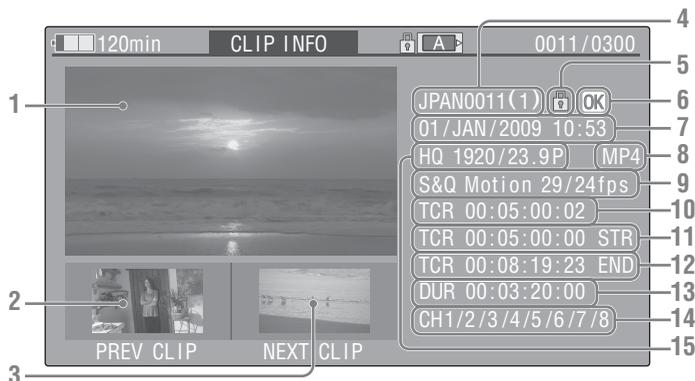
1)FAT/HDモードのみ有効

2)UDFのみ有効

3)UDF、FAT/HDモードで有効

クリップの詳細情報を表示する

クリップ操作メニューでDISP CLIP INFOを選択します。



1. 現在のクリップの画像

2. 前のクリップの画像

PREVボタンを押すと、ひとつ前のクリップの詳細情報画面になります。
FAT/SDモードで分割保存されたクリップの場合は、ひとつ前の分割クリップの詳細情報画面になります。

3. 次のクリップの画像

NEXTボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。
FAT/SDモードで分割保存されたクリップの場合は、次の分割クリップの詳細情報画面になります。

4. クリップ名

12文字以上のクリップ名の場合、最初の5文字と最後の5文字のみ表示されます。省略された部分を確認したいときは、SEL/SETボタンを押すと、クリップ名全体が表示されます（ロング表示モード）。もう一度SEL/SETボタンを押すとロング表示モードは解除されます。PREV/NEXTで前または次のクリップに切り換えた場合にも、ロング表示モードは解除されます。
FAT/SDモードでファイルサイズが2 GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/（スラッシュ）で区切ってクリップの分割数が表示されます。

5. ロックマーク（UDF、FAT/HDモードのみ）

UDF：選択しているクリップがロックされている場合にロックマークが表示されます。
FAT/HDモード：選択しているクリップにOKマークが付加されている場合にロックマークが表示されます。

6. OK/NG/KPマーク（UDF、FAT/HDモードのみ）

UDF：選択したクリップにOK/NG/KPフラグが付加されている場合は、そのマークが表示されます。
FAT/HDモード：選択したクリップにOKマークが付加されている場合は、OKマークが表示されます。

7. 収録日と録画開始時刻

8. ファイルフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマット（MXF、MP4、AVI）が表示されます。

9. 特殊記録撮影情報（UDF、FAT/HDモードのみ）

特殊記録モード（スロー & クイックモーション、インターバルレック、フレームレック）で記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。
スロー & クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側に「撮影フレーム

レート/再生フレームレートfps」が表示されます。

10. 表示されている画像のタイムコード
11. 記録開始点のタイムコード
12. 記録終了点のタイムコード
13. 収録時間
14. 記録音声チャンネル
15. 記録時のビデオフォーマット

OK/NG/KPフラグ (UDFのみ)

フラグを付加するときは、サムネイル画面のクリップ操作メニュー (36ページ) でOK FLAG ADD、NG FLAG ADD、KEEP FLAG ADDを選びます。フラグを削除するときは、CLIP FLAG DELETEを選びます。

ご注意

フラグを付加してもクリップは保護されません。クリップの削除を禁止する場合は、サムネイル画面のクリップ操作メニュー (36ページ) でLOCK CLIPを選びます。保護を解除する場合は、UNLOCK CLIPを選びます。

OKマーク (FAT/HDモードのみ)

OKマークを付加するときはサムネイル画面のクリップ操作メニュー (36ページ) から、OK MARK ADDを、削除するときはOK MARK DELETEを選びます。

クリップのコピー

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。

例: ABCD0002→ABCD0002(1)
ABCD0002(1)→ABCD0002(2)
ABCD0005(3)→ABCD0005(4)

- FATの場合、コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- UDFの場合、コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)～(999)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じSxSメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

クリップを指定してコピーする

サムネイル画面でクリップを選択して、クリップ操作メニューからCOPY CLIP(A)または(B)を選びます。

クリップを一括コピーする

OTHERSメニューのCopy All (56ページ) からClipsを選ぶと、同じSxSメモリーカードに記録されているクリップを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみコピーされますので、同一モードのクリップのみ抽出したいときにも便利です。

USB メディアにコピーする

USBメディアを接続しているときは、サムネイル画面でクリップを選択して、クリップ操作メニューからCOPY CLIP(USB)を選ぶと、USBメディアにクリップをコピーすることができます。

OTHERSメニューのUSB SET >Copy To USBを選ぶと、SxSメモリーカードのすべてのクリップをUSBメディアにコピーすることができます。OTHERSメニューのCopy Allと同様に、選択されているモードのクリップのみコピーされます。

クリップの削除

クリップ操作メニューからDELETE CLIPを選びます。

ご注意

OKマークやLOCK CLIPの設定されたフラグが付加されたクリップは削除できません。削除したいときは、先にOKマークやLOCK CLIPを解除してください。

クリップを一括削除する

OTHERSメニューのClip（54ページ）からAll Clips DELを選びます。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- OKマークやLOCK CLIPの設定されたフラグが付加されたクリップは削除できません。

クリップエクスパンド画面

UDF、FAT/HDモードでは、選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示することができます。

FAT/SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームをサムネイルとして表示することができます。

記録時間の長いクリップで、目的のシーンにすばやくキューアップしたい場合などに有効です。

クリップエクスパンド画面は、サムネイル画面で選択したクリップから選択できます。

1 サムネイル画面でクリップを選び、SEL/SETボタンを押す。

2 クリップ操作メニューから、EXPAND CLIPを選択する。

サムネイル画面で選択したクリップのエクスパンド画面が表示されます。

UDF、FAT/HDモードのクリップエクスパンド画面

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面（31ページ）で表示される項目と共通です。

1. フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。

	代表画
	ショットマーク1が付加されたフレーム
	ショットマーク2が付加されたフレーム

それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付加されている場合には、代表画→ショットマーク1→ショットマーク2の優先順位で表示されます。

2. タイムコード表示

エクスパンド画面で選択したフレームのタイムコードを表示します。

FAT/SDモードのクリップエクスパンド画面



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面(31ページ)で表示される項目と共通です。

1. タイムコード表示

選択されている分割されたファイルのタイムコードを表示します。

2. 収録時間 (Duration)

選択されている分割されたファイルの収録時間を表示します。

クリップエクスパンド画面のクリップ操作メニュー

項目	機能
EXPAND (COARSE) ¹⁾	クリップの分割数を減らす。
EXPAND (FINE) ¹⁾	クリップの分割数を増やす。
PAUSE	選択したフレームで再生一時停止モードにする。
SET INDEX PIC ¹⁾	選択したフレームを代表画に設定する (41ページ)。
SHOT MARK1 ADD ¹⁾	選択したフレームにショットマーク1を付加する (41ページ)。
SHOT MARK2 ADD ¹⁾	選択したフレームにショットマーク2を付加する (41ページ)。
SHOT MARK1 DEL ¹⁾	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する (41ページ)。

項目	機能
SHOT MARK2 DEL ¹⁾	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する (41ページ)。
DIVIDE CLIP ¹⁾	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する (41ページ)。(FAT/HDモードのみ)
CLIP REPEAT ¹⁾	選択したクリップを繰り返し再生する (35ページ)。

1)UDF、FAT/HDモードで有効

ショットマーク画面 (UDF、FAT/HDモード)

ショットマークやレックススタートマークが付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。

- サムネイル画面でクリップを選び、SEL/SETボタンを押す。
- クリップ操作メニューから、ALL MARKS、SHOT MARK1、SHOT MARK2、REC STARTのいずれかを選択する。

ショットマーク画面例 (ALL MARKS 選択時)



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

以下の項目以外は、UDF、FAT/HDモードのクリップエクスパンド画面(39ページ)で表示される項目と共通です。

1. タイムコード表示

ショットマーク画面で選択されているフレームのタイムコード

先頭/最後のフレームにカーソルを移動する

先頭のフレーム：カーソルが任意の場所にある状態でF REVボタンとPREVボタンを一緒に押します。

最後のフレーム：F FWDボタンとNEXTボタンを一緒に押します。

他のクリップのショットマーク画面に切り換える

前のクリップ：カーソルが先頭のフレームにある状態でPREVボタンまたは上ボタンを押します。

次のクリップ：カーソルが最後のフレームにある状態でNEXTボタンまたは下ボタンを押します。

ショットマーク画面でのクリップ操作メニュー

項目	機能
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する (41ページ)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する (41ページ)。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する (41ページ)。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する (41ページ)。(FAT/HDモードのみ)
CLIP REPEAT	選択したクリップを繰り返し再生する (35ページ)。
TRIM SHOT MARK1	設定されているショットマーク1の設定位置をトリムする (34ページ)。
TRIM SHOT MARK2	設定されているショットマーク2の設定位置をトリムする (34ページ)。
EXPAND (FINEST)	最も細分化された状態でクリップエクスパンド画面を表示し、選択したフレームを画面の中央に表示する。

ショットマークを追加・削除する

一時停止中にショットマークを追加するクリップ操作メニューからSHOT MARK1 ADDまたはSHOT MARK2 ADDを選びます。

クリップエクスパンド画面でショットマークを追加する

クリップ操作メニューからSHOT MARK1 ADDまたはSHOT MARK2 ADDを選びます。

ショットマークを削除する

クリップエクスパンド画面 (39ページ) またはショットマーク画面 (40ページ) でクリップ操作メニューからSHOT MARK1 DELまたはSHOT MARK2 DELを選びます。

クリップの代表画を変更する (UDF、FAT/HDモード)

クリップエクスパンド画面 (39ページ) やショットマーク画面 (40ページ) で選択したフレームを代表画に設定することができます。クリップ操作メニューからSET INDEX PICを選びます。

ご注意

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、サムネイル画面で再生を開始した場合は、常に先頭フレームから再生されます。

クリップを分割する (FAT/HDモードのみ)

クリップエクスパンド画面 (39ページ) やショットマーク画面 (40ページ) で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。クリップ操作メニューからDIVIDE CLIPを選びます。

クリップ名の前半4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

例：新たに記録した場合にEFGH0100というクリップが作られる状態で、ABCD0002という名前のクリップを分割した場合、ABCD0100とABCD0101の2つのクリップが作成されます。

ご注意

SxSメモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されます。

ステータス画面を表示する

STATUSボタン（7ページ）を押すと、LCDモニター、外部ビデオモニターにステータス画面を表示できます。

上/下ボタン（7ページ）を操作すると順次切り換わります。

STATUSボタンをもう一度押すと、ステータス画面が消えます。

- ◆外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターやカムコーダーなどを接続する」（61ページ）をご覧ください。

オーディオステータス画面

Output CH：外部出力/ヘッドホン出力

AUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHとMonitor CHの設定に応じて、外部出力およびヘッドホンに出力される音声チャンネルを以下のように表示します。

- CH-1：左右ともCH-1の場合
- CH-2：左右ともCH-2の場合
- CH-3：左右ともCH-3の場合
- CH-4：左右ともCH-4の場合
- CH-1/CH-2：左CH-1、右CH-2のステレオの場合
- CH-3/CH-4：左CH-3、右CH-4のステレオの場合
- CH-1+CH-2：左右ともCH-1+CH-2のモノラルの場合
- CH-3+CH-4：左右ともCH-3+CH-4のモノラルの場合

Speaker：スピーカー出力

内蔵スピーカーに出力される音声チャンネルを表示します。

スピーカーはモノラル出力のため、Monitor CHがステレオ設定の場合、CH-1+CH-2またはCH-3+CH-4と表示します。ステレオ以外のときは、AUDIO SETメニューのAudio OutputのMonitor CHの設定をそのまま表示します。

CH-1/CH-2/CH-3/CH-4：オーディオレベルメーター

4チャンネル（2チャンネル時は2チャンネル分）のオーディオレベルメーターと入力ソースを表示します。

記録中/記録待機中は入力されているオーディオのレベル（EE音声のレベル）を表示します。再生中はAUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHの設定に応じて、再生音声レベルを表示します。

サムネイル表示、再生停止状態、または外部入力信号を記録中に、i.LINK端子から音声の入力がある場合は、入力音声レベルを表示します。この場合は、AUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHの設定にかかわらず、左端のチャンネル表示はCH-1、CH-2になります。

ビデオステータス画面

Video Format：ビデオフォーマット

OTHERSメニューのSystemのRec Formatで設定されているビデオフォーマットの垂直ライン数、フレームレート、スキャン方式（i/P）、ファイルシステム（UDF/FAT）を表示します。

Rec Mode：記録ビットレート（HDモードのみ）

OTHERSメニューのSystemのRec Formatで設定されているビデオフォーマットの記録ビットレートを表示します。

SDI Output：SDI 出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectのSDIの設定を表示します。

HDMI Output：HDMI 出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectのHDMIの設定を表示します。

i.LINK I/O : i.LINK 入出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Selectのi.LINKの設定を表示します。

Input Setting : 記録ソース

VIDEO SETメニューのInput Source Selectで設定されている入力ソースまたはSG出力を表示します。

Down Converter : SD 出力のダウンコンバーター設定

VIDEO SETメニューのDown Converterの設定 (Squeeze、Letterbox、Edge Crop) を表示します。

23.98P Output : 23.98P 出力モード

VIDEO SETメニューの23.98P Outputの設定 (23.98PsF、59.94i (2-3 Pull Down)) を表示します。

Output Mode : 送出モード

VIDEO SETメニューのOutput Mode Selectで設定されているSDI OUT端子からの送出モードを表示します。

ボタン/リモートステータス画面**Assign Button: ボタンアサイン状態**

OTHERSメニューのAssign Buttonの設定で各アサインブルボタンに割り当てられている機能名を表示します。

IR Remote: 赤外線リモコンの有効 / 無効

OTHERSメニューのIR Remoteの設定を表示します。

バッテリー / メディアステータス画面**Battery: バッテリーパック残量**

装着されているバッテリーパックの残量を表示します。

Charge Count: 充電繰り返し回数

装着されているバッテリーパックの累積充電繰り返し回数を表示します。

Media A/Media B: メディアの残量、残記録可能時間、書き換え寿命目安

それぞれ対応するスロットに挿入されているSxSメモリーカードの空き記録容量をメーター表示します。

メーターの右には、現在の記録ビットレートで記録可能な残り時間を計算して分単位で表示します。対応するスロットにSxSメモリーカードが挿入されていないときや使用できないメモリーカードが挿入されているときは、「—min」と表示します。メモリーカードが書き込み防止の場合は、マークを表示します。

寿命表示に対応したカードが装着されている場合のみ、Lifeの値 (未使用状態を100%としたときのそれぞれのメモリーカードの残り寿命の目安) を示します。

USB Drv : USB メディアの残量

USBメディアが接続されている場合は、メディアの空き記録容量をメーター表示します。

セットアップメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、記録や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューがLCDモニターに表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。下記のメニューから選択して設定します。

- AUDIO SET** メニュー：音声に関する設定
- VIDEO SET** メニュー：映像出力に関する設定
- LCD SET** メニュー：LCDモニター表示に関する設定
- TC/UB SET** メニュー：タイムコードとユーザービットに関する設定
- OTHERS** メニュー：その他の設定

- Time Zone
- Clock Set
- Language
- Assign Button
- Tally
- Hours Meter
- IR Remote
- Battery Alarm
- Battery INFO
- Trigger Mode
- System
- Clip
- Copy All
- Format Media
- Plan.Metadata
- Network
- Wi-Fi
- USB SET
- Version
- Version Up
- Menu Scroll

セットアップメニューの階層

MENU

- AUDIO SET
 - Audio Input
 - Audio Output
- VIDEO SET
 - Input Source Select
 - Color Bars On/Off
 - Color Bars Type
 - SDI/HDMI/i.LINK I/O Select
 - SDI/HDMI/Video Out Super
 - Down Converter
 - 23.98P Output
 - SDI Rec Control
 - Clip Cont. Rec Setting
 - Output Mode Select
 - Segment Loop Rec
 - Segment Duration
- LCD SET
 - LCD
 - Display On/Off
- TC/UB SET
 - Timecode
 - Users Bit
 - TC Format
- OTHERS
 - All Reset
 - Setup Data

セットアップメニュー の基本操作

メニュー操作部

MENU ボタン (7 ページ)

セットアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

上/下/左/右ボタン、SEL/SET ボタン (7 ページ)

上/下/左/右ボタンで、カーソルを上下左右に移動します。

SEL/SETボタンで、選択している項目を決定します。

CANCEL ボタン (7 ページ)

ひとつ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

メニューを設定する

設定したい項目にカーソルを合わせ、SEL/SETボタンを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大7行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。選択肢エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端にSETが表示されます。

- 1 文字を選択し、SEL/SETボタンを押して決定する。
カーソルが次の欄に移動します。
前の欄に戻りたいときは、左ボタンを押します。
- 2 同様に最後の桁・欄まで設定する。
カーソルがSETに移動します。
- 3 SEL/SETボタンを押す。
設定が完了します。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Speed**）で示します。メニュー項目欄に **[M]** が表示されている項目は、サムネイル画面表示中や再生操作中は設定できません。

AUDIO SETメニュー

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声の入力関係 の設定 [M]	1KHz Tone On / Off	1KHzの基準音声信号をON/OFFする。
Audio Output 音声の出力関係 の設定	Monitor CH CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4) CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4) CH-1 (CH-3) CH-2 (CH-4)	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4): ステレオ CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4): ミックス CH-1 (CH-3): チャンネル1 (チャンネル3) のみ CH-2 (CH-4): チャンネル2 (チャンネル4) のみ () は、Output CHでCH-3/CH-4を選択した場合
	Output CH CH-1/CH-2 CH-3/CH-4	音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
	Alarm Level 0~7 (4)	アラーム音量を設定する。

VIDEO SETメニュー

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
Input Source Select 入力の選択	SDI / i.LINK	映像・音声信号の入力ソースを選択する。 SDI：SDI IN端子からの入力 i.LINK：i.LINK端子からのHDV/DVCAM入力
ご注意 UDF/HDモードではi.LINKを選択できません。		
Color Bars On/ Off カラーバーの設 定	On / Off	Input Source SelectがSDIのときに、カラーバー出力をON/OFFする。

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
Color Bars Type カラーバーの種類 の選択	Multi / 75% / 100% / SMPTE	Color Bars On/OffにOnを選択したときに出力されるカラーバーの種類を選択する。 Multi：マルチフォーマットカラーバーを出力する。 75%：75%カラーバーを出力する。 100%：100%カラーバーを出力する。 SMPTE：SMPTEカラーバーを出力する。
SDI/HDMI/i.LINK I/O Select 各端子の入出力 信号の選択	UDF/HDモードのとき HD SD SD P Off FAT/HDモード (HQ) のとき HD SD & DVCAM SD P Off FAT/HDモード (SP) のとき HD & HDV SD & HDV SD P & HDV SD & DVCAM Off UDF/SDモードのとき SD Off FAT/SDモードのとき SD & DVCAM Off	HD：SDI OUT端子からHD SDI信号、HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力する。 SD：SDI OUT端子からSD SDI信号、HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力する。 UDF/SDモードでは、i.LINK端子でDVCAMストリームを出力する。 HD & HDV：SDI OUT端子からHD SDI信号、HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力し、i.LINK端子でHDVストリームを出力する。 SD & HDV：SDI OUT端子からSD SDI信号、HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力し、i.LINK端子でHDVストリームを出力する。 SD P & HDV：HDMI OUT端子からSD HDMIプログレッシブ信号を出力し、i.LINK端子でHDVストリームを出力する。 SDI OUT端子およびVIDEO OUT端子からは信号を出力しない。 SD & DVCAM：SDI OUT端子からSD SDI信号、HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力し、i.LINK端子でDVCAMストリームを出力する。 SD P：HDMI OUT端子からSD HDMIプログレッシブ信号を出力する。 SDI OUT端子およびVIDEO OUT端子からは信号を出力しない。 Off：SDI/HDMI/i.LINKの各端子からは出力されない。 VIDEO OUT端子からコンポジット信号が出力可能な場合コンポジット信号を出力する。
SDI/HDMI/Video Out Super 各出力への文字 情報の設定	On / Off	SDI OUT端子、HDMI OUT端子、VIDEO OUT端子からの出力信号に、LCDモニターに表示されるメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。 ご注意 この項目の設定にかかわらず、サムネイル画面、クリップエクスパンド画面、ショットマーク画面では、常にLCDモニターに表示されるメニューやステータスを加えて表示します。
Down Converter ダウンコンバーターの動作モード の選択	Squeeze / Letterbox / Edge Crop	SD信号の出力モード (アスペクト) を設定する。 Squeeze：16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力する。 Letterbox：4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示する。 Edge Crop：16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力する。

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
23.98P Output 23.98P出力の設定	59.94i (2-3 PD) / 23.98PsF	ビデオフォーマットが、UDF/HDモードではHD422 50/1080/23.98P、HD420 HQ/1080/23.98Pのとき、FAT/HDモードではHQ 1920/23.98P、HQ 1440/23.98Pのときの出力フォーマットを選択する。
SDI Rec Control 同期記録の設定	Off / On	SDI IN端子に接続した機器から送信されたRECトリガー信号に連動して記録の開始/終了を行うかどうかを選択する。
Clip Cont. Rec Setting クリップコン ティニューア スレック機能の 設定	On / Off	クリップコンティニューアスレック機能をON/OFFする。
Output Mode Select 送出モードの 設定	Normal / Through / Auto	SDI OUT端子への映像信号の送出モードを設定する。 Normal：LCDモニターと同じ映像を出力する。 Through：常にSDI IN入力信号をスルー出力する。 Auto：本機で再生を行っているときは再生映像を、それ以外のときは、SDI IN入力信号を出力する。
Segment Loop Rec ループ記録の 設定	On / Off	2枚のSxSメモリーカードを使用したループ記録をON/OFFする。
Segment Duration ループ記録の 記録保持時間 設定	15~35min / 30~65min	ループ記録の記録保持時間の範囲を設定する。SxSメモリーカードの残容量が記録に必要な容量に満たない場合は選択できない。

LCD SETメニュー

LCD SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD LCDモニターに 関する設定	Color -99~+99 (±0)	LCD映像の色の濃さを調整する。
	Contrast -99~+99 (±0)	LCD映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
	Brightness -99~+99 (±0)	LCD映像の明るさを調整する。

LCD SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off LCDモニターに 表示する項目の 選択 	Audio Level Meter On / Off	オーディオレベルメーター表示をON/OFFする。
	Timecode On / Off	タイムデータ (タイムコード、ユーザービット、デュレーション) 表示をON/OFFする。
	Battery Remain On / Off	バッテリー残量/DC入力電圧表示をON/OFFする。
	Media Remain On / Off	メディア残量表示をON/OFFする。
	Rec Mode On / Off	特殊録画モード(Frame Rec、Interval Rec、S&Q Motion)の状態表示をON/OFFする。
	Video Format On / Off	ビデオフォーマット表示をON/OFFする。
	Clip Name On / Off	クリップ名表示をON/OFFする。
	ClipNumber (PB) On / Off	クリップ名に付加される番号表示をON/OFFする。
	SDI Rec Control On / Off	同期記録表示 (RM-SDI表示) をON/OFFする。
	Input Signal I/F On / Off	入力信号表示をON/OFFする。
	Wireless Status On / Off	CBK-WA100使用時の電波状態表示をON/OFFする。
	Ext Media Remain On / Off	CBK-WA100使用時のSDカード残量表示をON/OFFする。
	Sending Clip Info On / Off	CBK-WA100使用時のクリップ転送状態表示をON/OFFする。

TC/UB SETメニュー

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードに 関する設定	Mode Preset / Regen / Ext Regen / Clock	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset (プリセットモード) : 設定された状態から歩進する。 Regen (リジェネレートモード) : タイムコードは記録時に歩進する。SxSメモリーカードを入れ換えた場合、そのカードに記録されている最後のタイムコードを読み出して、タイムコードが連続するようにタイムコードを設定して記録する。 ExtRegen (外部リジェネレートモード) : 外部からの入力信号に重畳されたタイムコードに同期させる。 Clock (クロックモード) : 現在時刻をタイムコードとして使用する。
	Run Rec Run / Free Run	タイムコードの歩進モードがプリセットのとき、歩進方法を設定する。 Rec Run : タイムコードは記録時に歩進する。SxSメモリーカードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続する。SxSメモリーカードを取り出して別のカードで記録を行うと、再び元のカードを入れてもタイムコードは連続しない。 Free Run : SxSメモリーカードへの記録状態に関係なく常に歩進する。ModeをExtRegenに設定した場合は、必ずFree Runを選択する。
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。
	Reset Execute/Cancel	Executeを選択するとタイムコードを00:00:00:00にリセットする。
Users Bit ユーザービット に関する設定	Mode Fix / Date	ユーザービットのモードを設定する。 Fix : ユーザービットに任意の固定値を使用する。 Date : ユーザービットに現在年月日を使用する。
	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TC Format タイムコードの フォーマットの 設定	DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム

ご注意

選択されているビデオフォーマットやフレーム周波数によっては、TC Formatの設定にかかわらず、下記のとおりDF/NDFのいずれかに固定されます。

フォーマット設定	フレーム設定	TC Format
59.94i 59.94P 29.97P	00~29	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時は DF固定)
23.98P	00~23 ¹⁾	NDF固定 ²⁾
50i 50P 25P	00~24	NDF固定

1) Settingの際にフレームの桁は、00、04、08、12、16、20に限定されます。
記録開始のフレームは00、04、08、12、16、20に限定されます。
HQ 1920/23.98Pで記録中/記録待機中で、VIDEO SETメニューの23.98P Output (48ページ) が23.98PsFの場合を除き、2-3プルダウンされた59.94iとなるため、SDI OUT端子からの出力に重畳するタイムコードのフレームは00~29に振り直されます。

2) TC ModeがClockのときも、NDFでカウントするため徐々に実時刻からタイムコードがずれま
す。
HQ 1920/23.98Pで記録中/記録待機中で、VIDEO SETメニューの23.98P Output (48ページ) が23.98PsFの場合を除き、SDI OUT端子からの出力は2-3プルダウンされた映像になるため、画面に表示されるタイムコードが重複するフィールドが発生します。

OTHERSメニュー

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Execute/Cancel	Executeを選択するとリセットを実行する。
Setup Data 全メニュー設定値のSxSメモリーカードまたはUSBメモリーへの保存と呼び出し	Store(SxS)/(USB) Execute/Cancel	Executeを選択すると保存を実行し、セットアップファイルを下記のディレクトリーに保存する。 UDFの場合: /General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PMW_50/ FATの場合: /SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PMW_50/
	Recall(SxS)/(USB) Execute/Cancel	Executeを選択すると呼び出しを実行する。
Time Zone 時差の設定	UTC -12:00 ~ +13:30	UTCからの時差を30分単位で設定する。

OTHERS

メニュー項目	細目と設定値	内容
Clock Set	Date/Time	現在日時を設定する。
内蔵時計に関する設定	12H/24H 12H / 24H	時刻の表示形式を選択する。 12H: 12時間表示 24H: 24時間表示
	Date Mode YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD: 年月日の順 MMDDYY: 月日年の順 DDMMYY: 日月年の順
Language メニューとメッセージ表示言語の切り換え	English / Japanese / Chinese	English: 英語表示 Japanese: 日本語表示 Chinese: 中国語表示
ご注意		
日本語表示は警告や注意メッセージのみです。 メニューやステータス表示の言語は切り換わりません。		
Assign Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定	<1>、<2> Off / Last Clip DEL / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / OK Mark / Clip Flag OK / Clip Flag NG / Clip Flag Keep / Clip Continuous Rec / Clip Update / Play & SDI Rec / LCD Adjust / Color Bars On/ Off / Quick Backup / USB Thumbnail View / Partial Playback <1> Off <2> Off	ASSIGNボタン1/2に機能を割り当てる（選択できる機能は共通）。 Off：無効 Last Clip DEL：ラストクリップデリート（リテイク）機能の実行 IR Remote：赤外線リモコンの有効/無効の切り換え Shot Mark1：ショットマーク1の付加（HDモードのみ） Shot Mark2：ショットマーク2の付加（HDモードのみ） OK Mark：OKマークの付加、削除の実行（HDモードのみ、サムネイル画面では不可） Clip Flag OK：記録中または再生中のクリップにOKフラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Flag NG：記録中または再生中のクリップにNGフラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Flag Keep：記録中または再生中のクリップにKeepフラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Continuous Rec：クリップコンティニュースレック機能のON/OFF切り換え Clip Update：選択中のSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新（コンティニュースレック中は不可） Play & SDI Rec：クリップ再生とRECトリガー出力、および再生の一時停止とRECトリガー出力停止（CBK-WA100使用時） LCD Adjust：LCD Adjust機能のレベルバー表示切り換え（ブライトネス調整用→コントラスト調整用→Off） Color Bars On/Off：カラーバー出力のON/OFF Quick Backup：選択中のSxSメモリーカード内の全クリップをUSBメディアの新規フォルダーに一括バックアップ USB Thumbnail View：USBメディアのサムネイル画面を表示 Partial Playback：イン点-アウト点間再生

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Tally タリーに関する設定	Front High / Low / Off	タリーランプの明るさを設定する。
Hours Meter 積算時計の表示	Hours (Sys)	積算使用時間を表示する (リセット不可)。
	Hours (Reset)	積算使用時間を表示する (リセット可)。
	Reset Execute/Cancel	Executeを選択するとHours (Reset)表示を0にリセットする。
IR Remote リモコンのON/ OFF	On / Off	付属の赤外線リモコンを使用するときOnにする。 ご注意 本体の電源を切ると自動的にOffに戻ります。
Battery Alarm 電圧低下警告の設定	Low BATT 5% / 10% / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。
	BATT Empty 3% ~7% (3%)	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
	DC Low Volt1 11.5 V ~ 17.0 V (11.5 V)	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
	DC Low Volt2 11.0 V ~ 14.0 V (11.0 V)	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。
Battery INFO バッテリーパックに関する情報の表示 (表示のみ)	Type	タイプ(製品名)を表示する。
	MFG Date	製造年月日を表示する。
	Charge Count	累積充放電回数を表示する。
	Capacity	満充電時の推定全容量を表示する。
	Voltage	現在の出力電圧を表示する。
	Remaining	現在の残容量を表示する。
Trigger Mode i.LINK端子に接続した外部記録機器に対する操作の設定 (FATのみ) 	Internal / Both / External	Internal: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードに対してのみ行う。 Both: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードとi.LINK端子に接続した外部記録機器の両方に対して行う。 External: 録画開始/停止の操作をi.LINK端子に接続した外部記録機器に対してのみ行う。
System	Country NTSC Area /NTSC(J) Area / PAL Area	使用する地域とセットアップのON/OFFを選択する。 NTSC Area : セットアップON NTSC(J) Area : セットアップOFF PAL Area : セットアップOFF
	UDF/FAT UDF / FAT	ファイルシステムUDF/FATを切り換える。
	HD/SD HD / SD	HDモード/SDモードを切り換える。

Rec Format

ビデオフォーマットを設定する。

• UDF/HDモード
CountryがNTSC AreaまたはNTSC (J) Areaのとき

HD422 50/1080/59.94i

HQ 1920x1080/59.94i

HQ 1440x1080/59.94i

HD422 50/1080/29.97P

HQ 1920x1080/29.97P

HQ 1440x1080/29.97P

HD422 50/1080/23.98P

HQ 1920x1080/23.98P

HQ 1440x1080/23.98P

HD422 50/720/59.94P

HQ 1280x720/59.94P

CountryがPAL Areaのとき

HD422 50/1080/50i

HQ 1920x1080/50i

HQ 1440x1080/50i

HD422 50/1080/25P

HQ 1920x1080/25P

HQ 1440x1080/25P

HD422 50/720/50P

HQ 1280x720/50P

• UDF/SDモード

CountryがNTSC AreaまたはNTSC (J) Areaのとき

DVCAM59.94i

IMX50 59.94i

CountryがPAL Areaのとき

DVCAM50i

IMX50 50i

• FAT/HDモード

CountryがNTSC AreaまたはNTSC (J) Areaのとき

HQ 1920x1080/59.94i

HQ 1440x1080/59.94i

SP 1440x1080/59.94i

HQ 1920x1080/29.97P

HQ 1440x1080/29.97P

HQ 1920x1080/23.98P

HQ 1440x1080/23.98P

HQ 1280x720/59.94P

CountryがPAL Areaのとき

HQ 1920x1080/50i

HQ 1440x1080/50i

SP 1440x1080/50i

HQ 1920x1080/25P

HQ 1440x1080/25P

HQ 1280x720/50P

• FAT/SDモード

CountryがNTSC AreaまたはNTSC (J) Areaのとき

DVCAM59.94i

CountryがPAL Areaのとき

DVCAM50i**HDモード**

• ビットレート

UDF : HD422 50または

HD420 HQ

FAT : HQまたはSP

• 水平画素数

1920、1440、1280のいずれか

• フレームレート

23.98、25、29.97、50、59.94のいずれか

• スキャン方式

i (インターレース) または P (プログレッシブ)

SDモード

• フレームレート

50または59.94

• スキャン方式

i (インターレース)

Wide Mode

Auto / 16:9

入力信号がSD SDI信号のときに、ワイド映像の処理方法を設定する。

Auto : 入力信号がワイド映像のときは、スクイーズモードにする。ワイド映像でないときは、エッジクロップモードにする。

16:9 : 入力信号を常にワイド映像として扱い、スクイーズモード固定にする。

Audio (IMX)

16bit / 24bit

ビデオフォーマットがIMXのときに、オーディオの量子化ビット数を設定する。

Clip

クリップの名称や削除に関する設定

Auto Naming

C**** / Title / **Plan**

クリップ名の設定方法を選択する。

C**** : (UDFのみ)

Title: Title Prefixで任意に設定する。

Plan: プランニングメタデータで設定したクリップ名がある場合はその名称にする。ない場合はTitle Prefixで設定した名称にする。

メニュー項目	細目と設定値	内容
	Title Prefix nnn_ (nnnはシリアルNo.の下3桁) (最大7文字表示)	クリップ名のタイトル部分 (4~46文字) を設定する Character Set画面を呼び出す。 Character Set画面の構成 文字選択エリア (3行) : Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字を選択する。 !#\$%()+,-.:;=@[]^_`0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア (1行) : Space: カーソル位置の文字をスペースに変更する。 INS: カーソル位置にスペースを挿入する。 DEL: カーソル位置の文字を削除する。 ←: カーソルを左に移動する。 →: カーソルを右に移動する。 ESC: 変更をキャンセルしてCharacter Set画面を閉じる。 END: 変更を実行してCharacter Set画面を閉じる。 Title Prefixエリア (1行) : タイトルを入力するエリア
		タイトルを設定するには 1 文字選択エリアからTitle Prefixエリアのカーソル位置に入れる文字を選択 (ハイライト表示) し、SEL/SETボタンを押す。(選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。) 2 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応じて、Space、INS、DELを使用する。) 3 タイトル名の設定が終わったら、ENDを選択してCharacter Set画面を閉じる。
	Number Set 0001 ~9999	クリップ名の最後の番号部分 (4桁) を設定する。
	Update Media(A) / Media(B)	選択したスロットのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 ¹⁾
	Last Clip DEL Execute/Cancel	Executeを選択すると最後に記録したクリップを削除する。
	All Clips DEL Execute/Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカード内のすべてのクリップを削除する。
		ご注意 OKマークが付加されたクリップや、ロックされたクリップは削除できません。
	Filter Clips OK / NG / KP / None	クリップを表示するときのフィルターを、OK (OKフラグ)、NG (NGフラグ)、KP (Keepフラグ)、None (フラグなし) から選択する。(UDFのみ)
	Lock All Clips Execute/Cancel	Executeを選択するとすべてのクリップを保護する。(UDFのみ)
	Unlock All Clips Execute/Cancel	Executeを選択するとすべてのクリップの保護を解除する。(UDFのみ)

OTHERS

メニュー項目	細目と設定値	内容
	Index Picture Pos 0sec ~ 10sec (0sec)	クリップをサムネイル表示するときの画像を設定する。 先頭からの時間を選択する。
	Find Mode Clip / Rec Start	PREVボタン/NEXTボタンを押したときの動作を設定する。(UDFのみ) Clip : 現在のクリップ/次のクリップの先頭に移動する (クリップの先頭でPREVボタンを押したときはひとつ前のクリップの先頭に移動する)。 Rec Start : ひとつ前のRec Start Essence Mark /次のRec Start Essence Markに移動する。
Copy All ²⁾ クリップや Generalフォル ダーのファイル の一括コピーに 関する設定	Clips	SxSメモリーカード内のすべてのクリップをコピーする。
	General Files	SxSメモリーカード内のGeneralフォルダーにあるすべてのファイルをコピーする。
	Clips&General	SxSメモリーカード内のすべてのクリップとGeneralフォルダーにあるすべてのファイルをコピーする。
Format Media SxSメモリー カードの初期化	Media(A) Execute/Cancel	Executeを選択すると、設定されているファイルシステム (UDF/FAT) に従ってスロットAのSxSメモリーカードを初期化する。
	Media(B) Execute/Cancel	Executeを選択すると、設定されているファイルシステム (UDF/FAT) に従ってスロットBのSxSメモリーカードを初期化する。
Plan.Metadata プランニングメ タデータの操作 に関する設定	Load / Slot(A) または Load / Slot(B) Execute/Cancel	スロットAまたはBのSxSメモリーカードからプランニングメタデータを読み込む。 Executeを選択するとスロットAまたはBのSxSメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示される。ファイルを選択し、Load → Executeで読み込み実行。
	Load/USB (UDFモード時のみ) Execute/Cancel	OPTION端子に接続したUSBメモリーからプランニングメタデータをロードする。 「Execute」を選択すると、USBメモリーに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示され、ファイルを選択してロードを実行する。

ご注意

- ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、SxSメモリーカード内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー (General/Sony/Planning) に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。
- 読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示されるまで、SxSメモリーカードを抜かないでください。

OTHERS

メニュー項目	細目と設定値	内容
	Properties Execute/Cancel	Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を表示する。 File Name：ファイル名 Assign ID：アサインID Created：ファイルの生成日時 Modified：ファイルの最終更新日時 Modified by：ファイルの更新者 Title1：ファイルで指定されたTitle1の内容（ASCII形式のクリップ名） Title2：ファイルで指定されたTitle2の内容（UTF-8形式のクリップ名） Material Gp：マテリアルグループ（同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群）の数 Shot Mark1：ショットマーク1の名前 Shot Mark2：ショットマーク2の名前 プランニングメタデータ詳細情報画面でFile NameまたはAssign ID、Title1、Title2を選択し、SEL/SETボタンを押すと、選択した項目が全画面表示され、長いファイル名やクリップ名も全体を表示することができます。
		ご注意 Shot Mark1またはShot Mark2を選んでも、ショットマーク名の全画面表示はできません。
	Clear Execute/Cancel	Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を消去する。
	Clip Name Disp Title1 (ASCII) / Title2 (UTF-8)	プランニングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を設定する。 ご注意 プランニングメタデータでクリップ名を設定するとき、ASCII形式の名称とUTF-8形式の名称が両方とも定義されている場合はUTF-8形式の名称がクリップ名となります。プランニングメタデータで、ASCII形式の名称またはUTF-8形式の名称のどちらか一方しか定義していない場合は、メニューの設定にかかわらず定義されているクリップ名が表示されます。

OTHERS

メニュー項目	細目と設定値	内容
Network ネットワークの設定 ご注意 CBK-WA01またはIFU-WLM3が必要です。 CBK-WA100使用時は、このメニューは使用しません。	DHCP Enable / Disable	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するか (Enable) しないか (Disable) を選択する。
	IP Address 0.0.0.0～255.255.255.255 (192.168.1.10)	DHCPがDisableの場合に、IPアドレスを設定する。
	Subnet Mask 0.0.0.0～255.255.255.255 (255.255.255.0)	DHCPがDisableの場合に、サブネットマスクを設定する。
	Default Gateway 0.0.0.0～255.255.255.255 (0.0.0.0)	DHCPがDisableの場合に、デフォルトゲートウェイを設定する
	User Name (admin)	任意のユーザー名を設定する (英数字で1～31文字)。
	Password (pmw-50)	パスワードを設定する (英数字で0～31文字)。 ご注意 パスワードは “*” で表示されます。
	Set Execute/Cancel	ネットワーク設定を確認する。(Executeで実行)
	MAC Address	MACアドレスを表示する。
	Net Config Reset Execute/Cancel	ネットワーク設定を初期値に戻す。(Executeで実行)
	Wi-Fi Wi-Fi接続に関する設定 ご注意 CBK-WA01またはIFU-WLM3が必要です。 CBK-WA100使用時は、このメニューは使用しません。	Scan Networks Execute/Cancel
SSID (SSID名表示) Reset	ネットワーク名を初期値にリセットする。	
Network Type Infra / Adhoc	接続モードを選択する。 Infra : インフラストラクチャモード Adhoc : アドホックモード	
Ch 1～11	Network TypeがAdhocのときに、無線チャンネルを設定する。	
Authentication	ネットワーク認証方法を選択する。 Open : オープンシステム認証 Shared : 共有キー認証 WPA : WPA (Wi-Fi Protected Access) 認証 WPA2 : WPA2 (Wi-Fi Protected Access2) 認証	
Network TypeがInfraのとき Open / Shared / WPA / WPA2		
Network TypeがAdhocのとき Open / Shared		
Encryption	データの暗号化方式を選択する。 Disable : 暗号化しない WEP : WEP (Wired Equivalent Privacy) 方式 TKIP : TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) 方式 AES : AES (Advanced Encryption Standard) 方式	
AuthenticationがOpenまたはSharedのとき Disable / WEP		
AuthenticationがWPAまたはWPA2のとき Disable / TKIP / AES		

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	WEP Key Index 1 / 2 / 3 / 4	EncryptionがWEPのときに、キーのインデックスを選択する。
	Input Select	ネットワークキー（またはセキュリティキー）に応じて入力形式を選択する。
	EncryptionがWEPのとき ASCII5 / ASCII113 / HEX10 / HEX26	ASCII5 : ASCII形式で5文字 ASCII113 : ASCII形式で13文字 HEX10 : 16進数形式で10桁（文字） HEX26 : 16進数形式で26桁（文字）
	EncryptionがTKIPまたはAESのとき ASCII8-63 / HEX64	ASCII8-63 : ASCII8ビット形式で8～63文字 HEX64 : 16進数形式で64桁（文字）
	Key (ネットワークキー)	ネットワークキー（またはセキュリティキー）を設定する
	Set Execute/Cancel	Wi-FiがEnableのときに、Wi-Fiで行った設定を有効にする。(Executeで実行)
	Wi-Fi Status ■■■ Connecting (表示のみ)	接続の実行中には「Connecting」を表示し、通信中には接続状態を■の数で表示する。 ご注意 IFU-WLM3をAdhocモードで使用しているときは、Wi-Fi Statusは表示されません。
	Wireless Mode 802.11b / 802.11g / 802.11n	IEEE802.11の規格を表示する。
	Wi-Fi Enable / Disable	Wi-Fi接続を有効にするか (Enable) 無効にするか (Disable) を選択する。
	Wi-Fi Remote On / Off	Wi-Fiリモコンを有効にするか無効にするかを選択する。
USB SET USBメディア接続に関する設定	Thumbnail View Execute/Cancel	USBメディアのサムネイル画面を表示する。
	Select Folder	USBメディアでクリップのコピー先、およびサムネイル画面の表示対象となるフォルダーを選択する。フォルダーを新規に作成する場合は、<New>を選択する。
	Rename Folder	既存のフォルダー名を変更する。
	Error Check On / Off	クリップのコピー時にエラーチェックを行うかどうかを選択する。
	Format USB exFAT / FAT32	USBメディアをフォーマットする。 exFAT : クリップコピー用のUSBメディアをフォーマットする FAT32 : プランニングメタデータを書き込むUSBメモリーをフォーマットする (UDFモード時のみ)
	Copy To USB A→USB/B→USB/ A&B→USB	SxSメモリーカードのクリップをUSBメディアにコピーする。 ご注意 サムネイル画面を表示しているときのみ実行できます。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Copy From USB USB→A/USB→B	USBメディアのクリップをSxSメモリーカードにコピーする。
		ご注意 サムネイル画面を表示しているときのみ実行できます。
	With General Enable / Disable	クリップのコピー時にGeneralフォルダー内のファイルをコピーするかどうかを設定する。
Version 本機のバージョンを表示	Vx.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
Version Up 本機のバージョンアップ	Execute/Cancel	Executeを選択すると本機のバージョンアップを実行する。 バージョンアップが必要になったときに使用する。
		ご注意 SxSメモリーカードが挿入されていないときは選択できません。
Menu Scroll メニューのスクロール方法の設定	Normal / Loop	メニューのスクロール方法を選択する。 Normal: カーソルは一番上、または一番下までスクロールして止まる Loop: カーソルは一番上までスクロールすると、一番下へ移動してスクロールを続ける。一番下までスクロールすると一番上へ移動する

1) 本機以外の機器で操作されたカードが記録・再生できない状態になったときなど、管理ファイルを更新することによって、症状が改善される場合があります。

2) 複数のクリップやファイルが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、カードの容量が同じであっても使用条件やメモリーの特性により、全クリップやファイルを最後までコピーできない場合があります。

外部モニターやカムコーダーなどを接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

HD信号、SD信号を問わず、外部モニターにLCDモニターと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示できます。VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/Video Out Super (47ページ) をOnに設定してください。HDモードでSD信号を出力するときは、VIDEO SETメニューのDown Converter (47ページ) で出力モードを選択してください。

ご注意

ダウンコンバートでSD信号を出力する場合、50P/50i/25Pの映像はPAL信号、59.94P/59.94i/29.97Pの映像はNTSC信号、23.98Pの映像は2-3ブルダウン処理されたNTSC信号として出力されます。

SDI OUT端子 (BNC型)

本機のHD/SD設定に応じて、HD SDI (工場出荷時設定) またはSD SDI信号を出力します。

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (47ページ) を変更することによって、HDモードでもダウンコンバートされたモニター用SD SDI信号を出力できます。

i.LINK端子に接続した機器からHDVまたはDVCAMストリームを入力している場合は、i.LINK端子からの信号をSDI OUT端子から出力できます。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

HDMI OUT端子 (Type Aコネクター)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (47ページ) の設定を変更することによって、信号を出力できます。

HDモードでは、HD HDMI、SD HDMIインターレース、SD HDMI プログレッシブから選択して出力します。

SDモードではSD HDMI インターレース信号を出力します。

接続には、市販のHDMI接続ケーブルを使用してください。

VIDEO OUT端子 (BNC型)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (47ページ) の設定を変更することによって、HD-Y信号 (HDモード時) またはダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号 (SDモード時) を出力できます。

接続には市販のBNCケーブルを使用してください。

i.LINK (HDV/DV) 端子 (IEEE1394、4ピン)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (47ページ) の設定を変更することによって、HDVまたはDVストリームを出力できます。

入力設定をする場合は、VIDEO SETメニューのInput Source Select (46ページ) でi.LINKを選択してください。

i.LINK対応のモニターやVTRを接続できます (63ページ)。

AUDIO OUT端子 (ピンジャック)

記録中/記録待機中は記録対象の音声を出力し、再生時は再生中の音声を出力します。AUDIO SETメニューのAUDIO OUTPUT >Output CHの設定を変更することによって、チャンネル1と2またはチャンネル3と4の音声を出力できます。

接続には市販のオーディオケーブルを使用してください。

SDI IN端子 (BNC型)

カムコーダーなどの機器からのSDI信号を本機に入力し、記録したり、別の機器に出力することができます。

SDI信号を入力する場合は、VIDEO SETメニューのInput Source SelectでSDIを選択してください。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

外部機器からのトリガー信号で記録を開始するには

HD SDI信号入力時は、VIDEO SETメニューのSDI Rec Control (48ページ) をOnに設定すると、SDI IN端子に接続した外部機器からRECトリガー信号を出力することによって、本機での記録を開始することができます。

ご注意

接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

コンピューターを接続する

本機またはSxSメモリーカードUSBリーダー/ライター SBAC-US20 (別売り) を、それぞれに付属のUSBケーブルを使って接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。

ご注意

本機、SBAC-US20とも、コンピューターからのパワーでは動作しません。それぞれに電源を用意してください。

本機への接続の確認

1 本機の電源をONにする。

LCDモニターにUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ご注意

SxSメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

2 Executeを選ぶ。

3 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。 Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダー(フォルダー名は任意に変更可)が作成されていることを確認する。

ExpressCard/34またはExpressCard/54スロットがあるコンピューターの場合は、SxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
 - 電源を切る。電源コードを抜く。
 - SxSメモリーカードを抜く。
 - USBケーブルを抜く。
- Macintoshの場合、SxSメモリーカードを取り出すときは、メニューバーに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源切」を選択しないでください。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- 接続には本機に付属のUSBケーブルを使用してください。

i.LINKで接続する

HDV互換のビデオフォーマット（SP 1440/59.94i、SP 1440/50i）またはSDモード時にDVCAMが選択されている場合は、i.LINK端子を介した信号の入出力が可能です。

FATモードの場合、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectをHD & HDV、SD & HDV、SD P & HDV、またはSD & DVCAMに設定してください。UDF/SDモードの場合、SDに設定してください。

i.LINK端子に接続した外部機器で本機に記録されるのと同じ画像を記録したり、外部機器の再生画像を本機で記録することができます。

再生は、ロックオーディオ16ビット2チャンネルのDVCAMストリームに対応します。また、HDVフォーマット対応のノンリニア編集ソフトを使って編集することもできます。

ご注意

- i.LINK接続は1対1で使用してください。
- i.LINK接続中にOTHERSメニューのSystem、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select、Down Converterなど、i.LINK端子から出力される信号に影響がある設定を変更するときは、i.LINKケーブルを抜いてから変更してください。i.LINK接続中に設定を変更した場合、接続されたi.LINK機器が正常に動作できなくなることがあります。

本機の画像を外部機器で記録する (FATのみ)

記録中/記録待機中は、本機で記録している画像がi.LINK端子を介してHDV またはDVCAMストリームとして出力されます。本機の記録操作に連動して、接続したHDVレコーダーやDVCAMレコーダーで記録することもできます。

1 本機で事前に必要な設定を行う。

- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（47ページ）
- OTHERSメニューのTrigger Mode（53ページ）

- 2 外部機器を録画スタンバイ状態にする。
- 3 本機で記録を開始する。
同期して外部機器が記録モードになります。

本機のLCDモニターのi.LINK状態表示部（9ページ）に外部機器の状態が表示されます。

表示	外部機器の状態
STBY i.HDV	HDV録画待機中
●REC i.HDV	HDV録画中
STBY i.DV	DV録画待機中
●REC i.DV	DV録画中

ご注意

- 外部機器の種類によっては、動作が異なる場合があります。
- 本機で記録を開始してから、i.LINK状態表示が切り換わるまでタイムラグがあります。Trigger ModeがBothに設定されていても、接続されているi.LINK機器では同期がかかるまで記録が開始されません。
- メモリーカードには記録中にショットマークを設定することができますが、外部機器で記録される画像には付加されません。

ノンリニア編集する（FATのみ）

本機が再生モードのときは、i.LINK端子に接続したノンリニア編集システムにストリーム転送することができます。

ご注意

- 本機のi.LINK端子は4ピンです。接続するコンピューターのi.LINK端子のピン数をご確認のうえ、適切なi.LINKケーブルをお使いください。
- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。
- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境界でi.LINK信号が途切れることがあります。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャしようとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。
- ノンリニア編集機で×4倍、×15倍、×24倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK信号は出力されません。またこの場合LCDモニター画面は静止画のままになることがあります。

- ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出ない場合があります。

本機の設定

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（47ページ）をHD & HDV、SD & HDV、SD P & HDVまたはSD & DVCAMに設定してください。

外部入力信号を記録またはSDI出力する

i.LINK端子に接続した機器からのHDVまたはDVCAMストリーム入力を、SDI OUT端子に接続した機器へ出力することができます。入力信号を本機のSxSメモリーカードに記録することもできます。タイムコードは、i.LINK入力に重畳されているタイムコードが記録されます。

1 外部信号を本機が対応するフォーマットに設定する。

1440×1080/59.94i、1440×1080/50i、DVCAMフォーマットが入力可能です。

2 FATモードの場合、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（47ページ）をHD & HDV、SD & HDV、SD P & HDV、またはSD & DVCAMに設定する。UDF/SDモードの場合、SDに設定する。

3 VIDEO SETメニューのInput Source Select（46ページ）をi.LINKに設定する。

入力された信号が、SDI OUT端子から出力されます。映像信号は、VIDEO OUT端子およびLCDモニターにも出力されます。音声信号は、AUDIO OUT端子、ヘッドホン端子、および内蔵スピーカーにも出力されます。

4 記録をする場合は、RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押す。

ご注意

- 記録中に次のような状態になった場合、エラー表示になります。エラー表示になった場合は、

STOP/EEボタンを押して、記録を停止してください。

一本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。

—コピー禁止ストリームが入力されている。

- 記録中に本機への入力が無信号となった場合はタリーランプおよびLCDモニターのi.LINK状態表示の「●REC」が点滅し、SxSメモリーカードに何も記録されていないことを表示します。再び信号が入力されると記録が再開しますが、本機でのクリップ番号が繰り上がります。

USBメディアを接続する

本機のOPTION端子にHDDやUSBメモリーなどのストレージメディア（USBメディア）を接続すると、SxSメモリーカードとUSBメディアの間でクリップをコピーすることができます。

本機で使用可能なUSBメディア

本機で使用するUSBメディアは、次の条件を満たしている必要があります。

容量：3 GB ～ 2 TB

3 GB未満のメディアは認識されません。2 TBを越えるメディアは、2 TBのメディアとして認識されます。

フォーマット：exFAT

本機、PMW-400またはPMW-1000でフォーマットされたメディアのみ使用できます。他の機器でフォーマットされた場合は、正しく動作しないことがあります。

推奨USBメディアを次に示します。

- Sony PSZ-HA1T (1 TB)
 - Sony PSZ-HA50 (500 GB)
 - Sony PSZ-SA25 (256 GB)
 - Sony HD-E1 (1 TB)
 - Sony HD-EG5 (500 GB)
- また、動作確認済みUSBメディアを次に示します。
- Lacie LCH-RG005T3 (500 GB)
 - Buffalo HD-PNT2.0U3-GBC (2 TB)

有効なUSBメディアが接続されているときは、LCDモニターにUSBアイコン（9ページ）が表示されます。

ご注意

- 上記の条件を満たすすべてのHDD、USBメモリーの動作を保証するものではありません。
- 本機は、5.0V/0.5Aの電源で動作するUSBメディアに対応しています。使用するメディアによっては、本機で認識されないことがあります。その際は、別途電源を供給してください。

- 入力信号をUSBメディアに直接記録することはできません。
- USBでのコピー中、または再生中にUSBメディアを抜かないでください。

クリップをコピーする

SxS メモリーカードから USB メディアへコピーする

サムネイル画面を表示しているときは、OTHERSメニューのUSB SET >Copy To USBを選択すると、SxSメモリーカードに記録されているクリップを、USBメディアにまとめてコピーすることができます。コピー先フォルダーは、OTHERSメニューのUSB SET >Select Folderで選択します。選択していない場合は、新規フォルダーを作成してコピーします。新規フォルダーの名称は、コピー元のSxSメモリーカードの先頭クリップの撮影日時を使用します。A&B →USBを選択した場合、選択中のSxSメモリーカードのクリップはSelect Folderで選択したフォルダーに保存され、選択中でないSxSメモリーカードのクリップは新規フォルダーを作成して保存されます。サムネイル画面でクリップを選択してコピーする場合は、クリップ操作メニューからCOPY CLIP(A)または(B)を選択します。

アサインボタンを使って一括コピーする

アサインボタンにQuick Backup機能を割り当てておくと、アサインボタンを押すだけで、選択中のSxSメモリーカード内のすべてのクリップをUSBクリップにコピーすることができます。クリップは、新規フォルダーを作成して保存されます。

USB メディアから SxS メモリーカードへのコピー

サムネイル画面を表示しているときは、OTHERSメニューのUSB SET >Copy From USBを選択すると、USBメディアに記録されているクリップを選択中のSxSメモリーカードにコピーすることができます。

エラーチェックについて

OTHERSメニューのUSB SET >Error CheckをOnに設定すると、USBメディアとSxSメモリーカード間のコピー時に、エラーチェックを行います。エラーメッセージが表示された場合は、再度コピーを行ってください。

エラーチェックを行うと、行わないときの約2倍のコピー時間がかかります。

USBメディアのサムネイル画面を表示する

OTHERSメニューのUSB SET >Thumbnail Viewを選択すると、USBメディアに記録されているクリップのサムネイル画面が表示されます。アサインボタンにUSB Thumbnail View機能を割り当てて、ボタン操作でUSBメディアのサムネイル画面を表示することもできます。

USBメディアのサムネイル画面は、SxSメモリーカードのサムネイル画面とほぼ同じように操作できますが、次の注意事項があります。

- 次の機能は使用できません。
 - ショットマークの追加、削除
 - OK/NG/KPフラグ、OKマークの付加、削除
 - 代表画の設定
 - クリップの分割
- USBメディアに記録されているクリップを再生する場合、コマ落ちなどが発生することがあります。

クリップ操作メニュー

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する (37ページ)。
COPY CLIP(A) COPY CLIP(B)	選択中のクリップをスロットAまたはBのSxSメモリーカードにコピーする (38ページ)。
DELETE CLIP	クリップを削除する (39ページ)。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える (39ページ)。
CLIP REPEAT	選択したクリップを繰り返し再生する (35ページ)。

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「ご使用になる前に」と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

電源をOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

運搬するときは

LCDモニター部を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因になることがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

お買い上げ店かソニーのサービス窓口にご相談ください。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0℃～40℃）。
- 真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨が当たる所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

LCD（液晶）画面について

LCD画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白、赤、青、緑の点が消えないことがあります。

この現象は故障ではなく、これらの点記録されることはありませんので、安心してお使いいただくことができます。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、LCDモニターの映像が乱れることがあります。
 - フォーマットを切り換えたとき
 - サムネイル画面から再生を開始したとき
 - LCDモニターを反転したとき

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、OTHERSメニューのFormat Media（56ページ）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

出力のフォーマットと制限

SDI OUT端子の出力フォーマット

記録中 / 記録待機中 (SDI 入力)

入力フォーマット		出力フォーマット		
OTHERSメニュー のSystemのRec Format	SDI IN	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
		HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94i (HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	設定なし
29.97P (HD/HQ)				
23.98P (HD/HQ)				
	1920×1080/ 23.98PsF	1920×1080/59.94i ¹⁾ 1920×1080/23.98PsF ²⁾		
59.94P (HD/HQ)	1280×720/59.94P	1280×720/59.94P	SD 59.94i ³⁾	
59.94i (DVCAM/IMX)	SD/59.94i	設定なし	SD 59.94i	
50i (HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	1920×1080/50i	SD 50i	
25P (HD/HQ)				
50P (HD/HQ)	1280×720/50P	1280×720/50P	SD 50i ⁴⁾	
50i (DVCAM/IMX)	SD/50i	設定なし	SD 50i	

1) VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが2-3PDのとき

2) VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが23.98PsFのとき

3) 59.94Pから59.94iに変換したもの

4) 50Pから50iに変換したもの

記録中 / 記録待機中 (i.LINK(HDV) 入力)

FATモード時のみ有効 (UDF時はi.LINK無効)。

OTHERSメニューのSystemのRec FormatがSP 1440/59.94iの場合、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Selectの設定によって、出力フォーマットは次のようになります。

HD & HDV : 1920×1080/59.94i

SD & HDV : SD 59.94i

OTHERSメニューのSystemのRec FormatがSP 1440/50iの場合、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Selectの設定によって、出力フォーマットは次のようになります。

HD & HDV : 1920×1080/50i

SD & HDV : SD 50i

それ以外の場合は、青画が出力されるか、設定ができません。

記録中 / 記録待機中 (i.LINK(DVCAM) 入力)

FATモードまたはUDF/SDモード時のみ有効 (UDF/HDモード時はi.LINK無効)。

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectがSD & DVCAM (FATモード) またはSD (UDF/SDモード) の場合、入力フォーマットにかかわらず、出力フォーマットはSD 59.94i/SD 50iとなります。

SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectの設定がそれ以外の場合は、青画が出力されるか、設定ができません。

再生時

再生クリップのフォーマット	出力フォーマット		
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94i (HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	設定なし
29.97P (HD/HQ)	1920×1080/59.94i 1280×720/59.94i ¹⁾		
23.98P (HD/HQ)	1920×1080/59.94i ²⁾ 1920×1080/23.98PsF ³⁾ 1280×720/59.94P ⁴⁾		
59.94P (HD/HQ)	1280×720/59.94P		
59.94i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 59.94i	
50i (HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD 50i	
50P (HD/HQ)	1280×720/50P	SD 50i ⁶⁾	
25P (HD/HQ)	1920×1080/50i 1280×720/50P ¹⁾	SD 50i	
50i (DVCAM/IMX)	設定なし		

1)再生クリップのフォーマットが720のとき

2)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが2-3PDで、再生クリップのフォーマットが1080のとき

3)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが23.98PsFで、再生クリップのフォーマットが1080のとき

4)再生クリップのフォーマットが720のとき。FAT/HQ1280/23.98Pで記録されたPure Pクリップ再生時も自動でプルダウン再生されます。

5)59.94Pから59.94iに変換したものの

6)50Pから50iに変換したものの

サムネイル画面表示時

OTHERSメニューのSystemのRec Format	出力フォーマット			
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select			
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV	
59.94i (HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	設定なし	
29.97P (HD/HQ)				
23.98P (HD/HQ)				1920×1080/59.94i ¹⁾ 1920×1080/23.98PsF ²⁾
59.94P (HD/HQ)				1280×720/59.94P
59.94i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 59.94i		
50i (HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD 50i		
25P (HD/HQ)	1280×720/50P	SD 50i ⁴⁾		
50P (HD/HQ)				
50i (DVCAM/IMX)			設定なし	SD 50i

1)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが2-3PDのとき

2)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが23.98PsFのとき

3)59.94Pから59.94iに変換したものの

4)50Pから50iに変換したものの

HDMI OUT端子の出力フォーマット

記録中 / 記録待機中 (SDI 入力)

入力フォーマット		出力フォーマット		
OTHERSメニュー のSystemのRec Format	SDI IN	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
		HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94i (HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	SD 59.94P
29.97P (HD/HQ)				
23.98P (HD/HQ)	1920×1080/ 23.98PsF	1920×1080/59.94i ¹⁾		
59.94P (HD/HQ)	1280×720/59.94P	1280×720/59.94P	SD 59.94i ²⁾	
59.94i (DVCAM/ IMX)	SD/59.94i	設定なし	SD 59.94i	設定なし
50i (HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	1920×1080/50i	SD 50i	SD 50P
25P (HD/HQ)				
50P (HD/HQ)	1280×720/50P	1280×720/50P	SD 50i ³⁾	
50i (DVCAM/IMX)	SD/50i	設定なし	SD 50i	設定なし

1) VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが2-3PDのとき

2) 59.94Pから59.94iに変換したものと

3) 50Pから50iに変換したものと

記録中 / 記録待機中 (i.LINK(HDV) 入力)

FATモード時のみ有効 (UDF時はi.LINK無効)。

OTHERSメニューのSystemのRec FormatがSP 1440/59.94iの場合、出力フォーマットは次のようになります。

HD & HDV : 1920×1080/59.94i

SD & HDV : SD 59.94i

SD P & HDV : SD 59.94P

OTHERSメニューのSystemのRec FormatがSP 1440/50iの場合、出力フォーマットは次のようになります。

HD & HDV : 1920×1080/50i

SD & HDV : SD 50i

SD P & HDV : SD 50P

それ以外の場合は、青画が出力されるか、設定ができません。

記録中 / 記録待機中 (i.LINK(DVCAM) 入力)

FATモードまたはUDF/SDモード時のみ有効 (UDF/HDモード時はi.LINK無効)。

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectがSD & DVCAM (FATモード) またはSD (UDF/SDモード) の場合、入力フォーマットにかかわらず、出力フォーマットはSD 59.94i/SD 50iとなります。SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectの設定がそれ以外の場合は、青画が出力されるか、設定ができません。

再生時

再生クリップのフォーマット	出力フォーマット		
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94i (HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	SD 59.94P ¹⁾
29.97P (HD/HQ)	1920×1080/59.94i 1280×720/59.94P ²⁾		SD 59.94P
23.98P (HD/HQ)	1920×1080/59.94i ³⁾ 1280×720/59.94P ⁴⁾		
59.94P (HD/HQ)	1280×720/59.94P		
59.94i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 59.94i	設定なし
50i (HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD 50i	SD 50P ¹⁾
50P (HD/HQ)	1280×720/50P	SD 50i ⁵⁾	SD 50P
25P (HD/HQ)	1920×1080/50i 1280×720/50P ²⁾	SD 50i	
50i (DVCAM/IMX)	設定なし		設定なし

1)インターレースからプログレッシブに変換したもの

2)再生クリップのフォーマットが720のとき

3)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが2-3PDで、再生クリップのフォーマットが1080のとき

4)再生クリップのフォーマットが720のとき。Pure Pで記録されたクリップの再生時も自動でプルダウン再生されます。

5)プログレッシブからインターレースに変換したもの

サムネイル画面表示時

再生クリップのフォーマット	出力フォーマット		
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94i (HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	SD 59.94P
29.97P (HD/HQ)			
23.98P (HD/HQ)			
59.94P (HD/HQ)			
59.94i (DVCAM/IMX)	設定なし		設定なし
50i (HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD 50i	SD 50P
25P (HD/HQ)			
50P (HD/HQ)			
50i (DVCAM/IMX)			

1)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが2-3PDのとき

VIDEO OUT端子の出力フォーマット

記録中 / 記録待機中 (SDI 入力時)

SDI入力時のSDI OUT端子の出力フォーマットと同様。

記録中 / 記録待機中 (i.LINK(HDV) 入力時)

i.LINK(HDV)入力時のSDI OUT端子の出力フォーマットと同様。

記録中 / 記録待機中 (i.LINK(DVCAM) 入力時)

i.LINK(DVCAM)入力時のSDI OUT端子の出力フォーマットと同様。

i.LINK端子の出力フォーマット

記録中 / 記録待機中 (SDI 入力)

FATモード時のみ有効 (UDF時はi.LINK無効)。

OTHERSメニューのSystemのCountryがNTSC AreaまたはNTSC(J) Areaで、Rec FormatがSP 1440/59.94iの場合、出力フォーマットは次のようになります。

*** & HDV : HDV 59.94i

*** & DVCAM : SD 59.94i

CountryがNTSC AreaまたはNTSC(J) Areaで、Rec Formatの設定が上記以外の場合は、次のようになります。

*** & HDV : 設定なし

*** & DVCAM : SD 59.94i (1920×1080/23.98P、1440×1080/23.98Pは設定なし)

OTHERSメニューのSystemのCountryがPAL Areaで、Rec FormatがSP 1440/50iの場合、出力フォーマットは次のようになります。

*** & HDV : HDV 50i

*** & DVCAM : SD 50i

CountryがPAL Areaで、Rec Formatの設定が上記以外の場合は、次のようになります。

*** & HDV : 設定なし

*** & DVCAM : SD 50i

再生時

FATモードまたはUDF/SDモード時のみ有効 (UDF/HDモード時はi.LINK無効)。

OTHERSメニューのSystemのCountryがNTSC AreaまたはNTSC(J) Area、Rec FormatがSP 1440/59.94iで、再生クリップのフォーマットがSP 1440/59.94iの場合、出力フォーマットは次のようになります。

*** & HDV : HDV 59.94i

*** & DVCAM : DVCAM 59.94i

再生時

SDI OUT端子の出力フォーマットと同様。

サムネイル画面表示時

SDI入力時のSDI OUT端子の出力フォーマットと同様。

CountryがNTSC AreaまたはNTSC(J) Areaで、上記以外のフォーマットのクリップを再生した場合は、次のようになります。

*** & HDV : 設定なし

*** & DVCAM : DVCAM 59.94i (1920×1080/23.98P、1440×1080/23.98P、および1280×720/23.98Pは設定なし)
SD : DVCAM 59.94i (UDF/SDモード時)

OTHERSメニューのSystemのCountryがPAL Area、Rec FormatがSP 1440/50iで、再生クリップのフォーマットがSP 1440/50iの場合、出力フォーマットは次のようになります。

*** & HDV : HDV 50i

*** & DVCAM : DVCAM 50i

CountryがPAL Areaで、上記以外のフォーマットのクリップを再生した場合は、次のようになります。

*** & HDV : 設定なし

*** & DVCAM : DVCAM 50i

SD : DVCAM 50i (UDF/SDモード時)

Rec Formatが、HQ 1080/23.98PまたはHQ 720/23.98P (ピュア23.98Pで記録するビデオフォーマット) に設定されているときは、再生映像はi.LINK(DVCAM)で出力されません。

UDF/SDモードでRec FormatがIMX50iに設定されているときは、再生映像はi.LINK(DVCAM)で出力されません。

バックアップ電池の交換

本機はバックアップ電池によって各種データを保持します。
工場出荷時に、バックアップ用リチウム電池CR2032が装着されています。
バッテリーパックやACアダプターをはずした状態でも、バックアップ電池によって日付・時刻、およびFree Runモードのタイムコードを保持し歩進させます。

警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

バックアップ電池の交換時期

バックアップ電池の電圧が低下すると、LCDモニターに警告メッセージが表示されます。
できるだけ早く新しい電池と交換してください。

ご注意

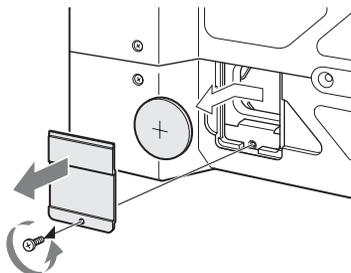
- 市販のCR2032リチウム電池を使用してください。指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- CR2032が入手できない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

バックアップ電池を交換する

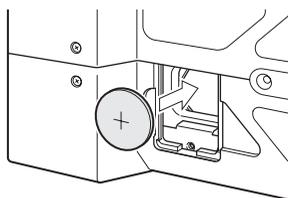
ご注意

- バックアップ電池を交換するときは、必ず電源をOFFにしてください。
- はずしたネジを本体内に落とさないようにご注意ください。

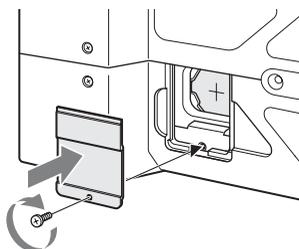
- 1 側面のバックアップ電池取り付け部のネジをはずしてカバーを開け、非金属の棒状のもので電池を横にずらして取り出す。



- 2 +表示を外側にして新しいバックアップ電池（CR2032）を入れる。



- 3 カバーを元どおり取り付け。



トラブル時の対処

電源

症状	原因	対処
電源ボタンを押しても電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける（11ページ）か、ACアダプター（BC-U1/BC-U2）を使用してAC電源に接続する（12ページ）。
	バッテリーパックが完全に消費している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（11ページ）。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消費している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（11ページ）。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す（11ページ）。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録・再生

症状	原因	対処
REC+PLAY/PAUSEボタンを押しても記録が始まらない。	電源がOFFになっている。	電源ボタンを押す。
	SxSメモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除するか、またはプロテクトされていないSxSメモリーカードに交換する。
	SxSメモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるSxSメモリーカードに交換する。
	修復が必要なSxSメモリーカードが入っている。	SxSメモリーカードを修復する（14ページ）。
PLAY/PAUSEボタンを押しても再生が始まらない。	電源がOFFになっている。	電源ボタンを押す。
付属のリモコンが働かない	リモコン操作が無効になっている。	リモコン操作を有効にする（53ページ）。
	リモコンの電池が消費している。	電池を交換する（8ページ）。

外部機器

症状	原因	対処
i.LINK接続しても接続先の機器に画像が映らないなど、接続先の機器が反応しない。	認識するまでに時間がかかる場合がある。	約15秒間、そのまま待つ。それでも認識しないときは、以下を行う。 <ul style="list-style-type: none">• i.LINKケーブルを差し込み直すなどして、接続状態を確認する。• 電源をOFFにして、接続し直す。• i.LINKケーブルを交換する。

エラー表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、LCDモニターのメッセージ表示、タリールンプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

警告音の音量は、AUDIO SETメニューのAudio Output (46ページ) のAlarm Levelで設定します。

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

LCD警告表示	警告音	タリールンプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。LCDモニター上に ●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源ボタンを押しても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源もはずしてください。)

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

(OTHERSメニューのLanguageをEnglishに設定した場合、メッセージは英文で表示されます。)

LCD警告表示	警告音	タリールンプ	原因と対策
メディア残量がわずかです Media Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
メディア残量がありません Media Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
バッテリー残量がわずかです Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
バッテリー残量がありません Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
警告温度になりました Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
電源電圧が低下しています Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています (段階1)。 供給電源を確認してください。
電源電圧が不足しています Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます (段階2)。記録はできません。 他の電源に接続し直してください。
HDD A ¹ バッテリー残量がわずかです HDD A ¹ Battery Near End	断続音	点滅	HDDのバッテリーの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
HDD A ¹ バッテリー残量不足です HDD A ¹ Battery End	連続音	高速点滅	HDDのバッテリーが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーを交換してください。

LCD警告表示	警告音	タリランブ	原因と対策
このバッテリーは使用できません 交換してください Battery Error Please Change Battery			バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
バックアップ電池残量がありません 交換してください Backup Battery End Please Change			バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
メディア(A) ²⁾ は使用できません 交換してください Unknown Media(A) ²⁾ Please Change			パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超過して記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は修復が必要です Media Error Media(A) ²⁾ Needs to be Restored			メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は記録できません Media Error Cannot Record to Media(A) ²⁾			メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをおすすめします。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は使用できません Media Error Cannot Use Media(A) ²⁾			メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
まもなくスロットを切り替えます Will Switch Slots Soon			2枚のメモリーカードで連続記録を実行するためスロットを切り換えることを予告するメッセージです。
クリップがありません No Clip			メディア内にクリップがありません。 選択しているカードを確認してください。
メディア(A) ³⁾ は使用できません ファイルシステムが異なります Cannot Use Media(A) ³⁾ Unsupported File System			ファイルシステムの異なるメディアまたはフォーマットされていないメディアが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
UDFモードでは メディア(A) ²⁾ は使用できません Cannot Use Media(A) ²⁾ In UDF Mode			UDFモードでは使用できないメモリーカードが挿入されました。 対象スロットのカードを交換または本機でフォーマットするか、UDF/FATモードを切り換えてください。
同名のクリップが存在します メディア(A) ³⁾ を交換してください Same File Already Exists Change Media(A) ³⁾			コピー先のメディア内に同じ名前のクリップがあります。 対象のメディアを他のメディアに交換してください。
ビデオフォーマットが違います Video Format Mismatch			Rec Format設定が外部入力信号フォーマットと異なっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 OTHERSメニューのSystemのRec Formatを外部入力信号に合わせて設定し直してください。
コピー制御信号を検出しました 記録できません Copy Protected Input Cannot Record			ストリームにコピープロテクトがかかっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 入力信号を確認してください。

LCD警告表示	警告音	タリランプ	原因と対策
メディアエラーが発生しました 再生を停止しました Media Error Playback Halted			メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生が続けられません。 頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。
メディア(A) ²⁾ にエラーが発生しました Media(A) ²⁾ Error			メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
書き換え寿命に達しました メディア(A) ²⁾ を交換してください Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ²⁾			メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。
最大クリップ数になりました コピーしました xx/xx Reached Clip Number Limit Copy Completed to xx/xx			メディアに記録可能な最大クリップ数に達したため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 メディアを交換してください。
メディア残量が足りません コピーしました xx/xx Not Enough Capacity Copy Completed to xx/xx			メディアの残量が足りないため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 メディアを交換してください。
同名のクリップが複数存在します コピーしました xx/xx Reached Duplication Limit Copy Completed to xx/xx			同名のクリップが10以上存在するため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 カードを交換してください。
エラーが発生しました キャンセル：中止 メディアがありません Copy Error! (CANCEL:Abort) No Media!			メモリーカードがスロットに挿入されていません。 カードを挿入してください。
エラーが発生しました キャンセル：中止 書き込み禁止メディア Copy Error! (CANCEL:Abort) Media Write Protected			メモリーカードにライトプロテクトがかかっています。 スロットからカードを取り出して、ライトプロテクトを解除してください。
エラーが発生しました キャンセル：中止 メディア(A) ³⁾ は使用できません Copy Error! (CANCEL:Abort) Cannot Use Media(A) ³⁾			<ul style="list-style-type: none"> • 使用できないメモリーカードが挿入されました。 対象スロットのカードを交換してください。 • コピー時のエラーチェックでエラーがありました。 コピーをやり直してください。
Generalファイルのコピー コピーできません Copy General Files NG: Cannot Copy			Generalファイルのコピーに失敗しました。 コピーをやり直してください。
ファイルシステムが異なります File System Mismatch			ファイルシステムが異なるメディアが挿入されました。 メディアを交換または本機でフォーマットするか、UDF/FATモードを切り換えてください。
非対応のデバイスです Unsupported Device			本機で対応していない種類のメディアが接続されています。 メディアを交換してください。
最大フォルダ数です メディア (USB) を交換してください Reached Folder Number Limit Change Media (USB)			メディアに設定可能な最大フォルダ数に達しています。 フォルダーを削除するか、メディアを交換してください。

LCD警告表示	警告音	タリ ランプ	原因と対策
全クリップコピー 中止しました Copy All Clips Cancelled			記録操作を開始したため、またはキャンセル 操作を行ったため、コピーを中止しました。
1) スロットBに接続したHDDの場合はB 2) スロットBに入れたカードの場合は(B) 3) スロットBに入れたカードの場合は(B)、 OPTION端子に接続したUSBメディアの場合は (USB)			

ライセンスについて

MPEG-2 Video Patent Portfolio Licenseについて

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所250STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

PACKAGED MEDIAとは、一般消費者向けに販売、頒布されるMPEG-2コンテンツの入ったメディア（映画 DVDなど）を指します。PACKAGED MEDIAを製造、販売、頒布する業者は、MPEG LAからライセンスを取得する必要があります。詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ：http://www.mpegla.com

ビットマップフォントについて

本製品は、株式会社リコーがデザイン制作したリコービットマップフォントを使用しています。

GPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL version 2適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっていきます。

<http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

OpenSSLについて

本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアが含まれています（<http://www.openssl.org/>）。

OpenSSL License

```
/*
=====
* Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL
* Project. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and
* binary forms, with or without
* modification, are permitted provided
* that the following conditions are met:
*
* 1. Redistributions of source code must
* retain the above copyright notice,
* this list of conditions and the
* following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must
* reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the
```

```

* following disclaimer in the
* documentation and/or other
* materials provided with the
* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning
* features or use of this software must
* display the following
* acknowledgment:
* "This product includes software
* developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit.
* (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and
* "OpenSSL Project" must not be used
* to endorse or promote products
* derived from this software without
* prior written permission. For written
* permission, please contact openssl-
* core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software
* may not be called "OpenSSL" nor
* may "OpenSSL" appear in their
* names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form
* whatsoever must retain the following
* acknowledgment:
* "This product includes software
* developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit
* (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY
* THE OpenSSL PROJECT ``AS IS"
* AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED
* WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
* LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
* AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO
* EVENT SHALL THE OpenSSL
* PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE
* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY,

```

```

* OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
* GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
* OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY
* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
* TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
* OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE
* USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
* ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*

```

```

=====
*
* This product includes cryptographic
* software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product
* includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* /

```

Original SSLeay License

```

-----
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young
* (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL
* implementation written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as
* to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and
* non-commercial use as long as the
* following conditions are aheared to.
* The following conditions apply to all
* code found in this distribution, be it the
* RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not
* just the SSL code. The SSL
* documentation included with this
* distribution is covered by the same

```

* copyright terms except that the holder
 * is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and
 * as such any Copyright notices in the
 * code are not to be removed.
 * If this package is used in a product,
 * Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library
 * used.
 * This can be in the form of a textual
 * message at program startup or in
 * documentation (online or textual)
 * provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and
 * binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided
 * that the following conditions are met:
 * 1. Redistributions of source code must
 * retain the copyright notice, this list of
 * conditions and the following
 * disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must
 * reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the
 * following disclaimer in the
 * documentation and/or other
 * materials provided with the
 * distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning
 * features or use of this software must
 * display the following
 * acknowledgement:
 * "This product includes
 * cryptographic software written by
 * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 * The word 'cryptographic' can be left
 * out if the routines from the library
 * being used are not cryptographic
 * related :-).
 * 4. If you include any Windows specific
 * code (or a derivative thereof) from
 * the apps directory (application
 * code) you must include an
 * acknowledgement:
 * "This product includes software
 * written by Tim Hudson

(tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY
 * ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY
 * EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
 * INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
 * THE IMPLIED WARRANTIES OF
 * MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
 * PARTICULAR PURPOSE ARE
 * DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
 * AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE
 * LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
 * CONSEQUENTIAL DAMAGES
 * (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
 * PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
 * GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
 * INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
 * CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
 * TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
 * OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT
 * OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN
 * IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for
 * any publicly available version or
 * derivative of this code cannot be
 * changed. i.e. this code cannot simply
 * be copied and put under another
 * distribution licence [including the GNU
 * Public Licence.]
 * /

JQuery,Sizzle.jsについて

本製品には、MITライセンス適用の下記のソフトウェアが含まれています

jQuery JavaScript Library v1.7.2
<http://jquery.com/>
Copyright 2011, John Resig

Sizzle.js
<http://sizzlejs.com/>
Copyright 2011, The Dojo Foundation
Date: Wed Mar 21 12:46:34 2012 -0700

MITライセンス

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF

CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご希望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

一般仕様

電源

DC 12V

消費電力

約9 W (記録時、LCD On)

約12 W (記録時、LCD On、オプション端子接続時)

動作温度

0℃～40℃

保存温度

-20℃～+60℃

質量

約1 kg (本体のみ)

外形寸法 (幅/高さ/奥行き)

約124×86×237 mm (突起部含まず)

記録・再生フォーマット (ビデオ)

UDF

HD422モード：MPEG-2 422P@HL、50 Mbps / CBR

HD420 HQモード：MPEG-2 MP@HL、35 Mbps / VBR

DVCAMモード：DVCAM

IMX 50モード：MPEG-2 422P@ML

Intra、50 Mbps/CBR

FAT

HQモード：MPEG-2 MP@HL、35 Mbps / VBR

SPモード：MPEG-2 MP@H14、25Mbps / CBR

DVCAMモード：DVCAM

記録・再生フォーマット (オーディオ)

UDF

HD422モード：LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

IMX 50モード：LPCM 24/16ビット、48 kHz、4チャンネル

DVCAM (i.LINK) モード：LPCM 16ビット、48kHz、2チャンネル

他のモード：LPCM 16ビット、48 kHz、4チャンネル

FAT

HDモード：LPCM 16ビット、48 kHz、4チャンネル

SDモード：LPCM 16ビット、48 kHz、
2チャンネル
記録・再生時間

UDF

HD422モード

約240分：SBP-128B (128 GB)
使用時
約120分：SBP-64B / SBS-64G1A
(64 GB) 使用時
約60分：SBS-32G1A (32 GB)
使用時

HD420 HQモード

約360分：SBP-128B (128 GB)
使用時
約180分：SBP-64B / SBS-64G1A
(64 GB) 使用時
約90分：SBS-32G1A (32 GB)
使用時

SDモード：IMX50

約240分：SBP-128B (128 GB)
使用時
約120分：SBP-64B / SBS-64G1A
(64 GB) 使用時
約60分：SBS-32G1A (32 GB)
使用時

SDモード：DVCAM

約440分：SBP-128B (128 GB)
使用時
約220分：SBP-64B / SBS-64G1A
(64 GB) 使用時
約110分：SBS-32G1A (32 GB)
使用時

FAT

HQ 1920/HQ 1440/HQ 1280モード

約400分：SBP-128B (128 GB)
使用時
約200分：SBP-64B / SBS-64G1A
(64 GB) 使用時
約100分：SBS-32G1A (32 GB)
使用時

SP 1440モード

約560分：SBP-128B (128 GB)
使用時
約280分：SBP-64B / SBS-64G1A
(64 GB) 使用時
約140分：SBS-32G1A (32 GB)
使用時

DVCAMモード

約520分：SBP-128B (128 GB)
使用時
約260分：SBP-64B / SBS-64G1A
(64 GB) 使用時
約130分：SBS-32G1A (32 GB)
使用時

ご注意

記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。

バッテリー駆動時間

約180分 (バッテリーパックBP-U30使用時)
約360分 (バッテリーパックBP-U60使用時)
約540分 (バッテリーパックBP-U90使用時)
(記録時、LCD：On)

メディアドライブ

メディアタイプ

ExpressCard/34 slot (2)

入出力

SDI入力

BNC (1)、HD/SD切り換え可能、
SMPTE 292M/259M

アナログビデオ出力

BNC (1)、NTSC/PAL/HD-Y

SDI出力

BNC (1)、HD/SD切り換え可能、
SMPTE 292M/259M

HDMI出力

Type A 19ピン (1)

アナログオーディオ出力

ピンジャック (CH-1、CH-2)、
-10 dBu (基準レベル)、47 kΩ

ヘッドホン出力

ステレオミニジャック (1)

i.LINK

IEEE 1394、4ピン (1)、HDV
(HDV1080i) / DVCAMストリーム入出力、S400

USB

Type B (1)

DC入力 (12 V)
DCジャック (12 V)
オプション
4ピン、Type A

USB無線LANモジュール
IFU-WLM3
ワイヤレスアダプター
CBK-WA100

その他機能

ディスプレイ
3.5型カラー LCDモニター：852 (H) ×
3 (RGB) × 480 (V)、16:9

付属品

バッテリーチャージャー /ACアダプター
BC-U1 (1)
赤外線リモコン (1)
USBケーブル (1)
ショルダーベルト (1)
Wi-Fiアダプターブラケット (1)
サイドスペーサー (1)
ボタン電池 (バックアップ用CR2032) (1)
あらかじめ本機に装着されています。
ボタン電池 (リモコン用CR2025) (1)
あらかじめリモコンに装着されています。
取扱説明書 (CD-ROM) (1)
ご使用になる前に (1)
保証書 (1)

別売りアクセサリー

バッテリーパック
BP-U30、BP-U60、BP-U90、
BP-U60T
バッテリーチャージャー /ACアダプター
BC-U1、BC-U2
SxSメモリーカード
SxS PRO+シリーズ
SxS PROシリーズ
SxS-1シリーズ
SxSメモリーカードUSBリーダー /ライター
SBAC-US20
メディアアダプター
QDA-EX1 (XQDメモリーカード用)
MEAD-MS01 (“メモリースティック
PRO-HG デュオ” HX用)
MEAD-SD02 (SDHCカード用)
Wi-Fiアダプター
CBK-WA01

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

- XDCAM、SxS、SxS PRO、SxS-1、XQD、i.LINK、、Memory Stick (“メモリースティック”)、 MEMORY STICKTM、Memory Stick PRO-HG Duo (“メモリースティック PRO-HG デュオ”)、およびリモートコマンドーはソニー株式会社の商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ExpressCard[®]ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

その他本機に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標、または商標です。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>